

第七十五回帝國議會 金華山軌道株式會社及朝倉軌道株式會社所屬軌道ノ委員會會議錄(速記)第四回
衆議院 經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案

付託議案
金華山軌道株式會社及朝倉軌道株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)(第七十九號)
自動車交通事業法中改正法律案(政府提出)(第八四號)

會議

昭和十五年三月七日(木曜日)午後一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 名川 侃市君

理事 山田 清君 理事 田中 好君

理事 紅露 昭君

愛野時一郎君 小平 重吉君

簡牛 九夫君 本田 義成君

伊東 岩男君 淺沼稻次郎君

安藤 孝三君 長野 綱良君

出席政府委員左ノ如シ

鐵道政務次官 宮澤 裕君

鐵道參與官 大島 寅吉君

鐵道省監督局長 鈴木 清秀君

鐵道省運輸局長 長崎惣之助君

鐵道省建設局長 堀越 清六君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

鐵道書記官 馬場 惟保君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

金華山軌道株式會社及朝倉軌道株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

自動車交通事業法中改正法律案(政府提出)

○名川委員長 開會致シマス——伊東君

○伊東委員 先日ノ委員會ニ於キマシテ民政黨ノ山田委員カラ專門的ノ立場カラ而モ東京市ヲ中心ニシタ自動車經營ノ問題ニ付

テ、色々御尋ガアツタノデアリマス、私ハ地方自動車營業ヲ中心ニ致シマシテ、而モ理論ヲ總テ拔キニシテ、實際ノ具體的問題ニ付テ、業者ノ聽カントスル所ヲ率直ニ御聽キシタイト思フノデアリマス、問題ガ細カイコトニナル場合モアリマセウシ、又少少時間モ取リマスルガ、御辛抱ノ上御答ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、地方モ中央デモサウデアリマスガ、只今自動車從業者ハ、自動車ノ大合同、統制ニ付テ、官僚ノ獨善の壓力ガ非常ニ加ツテ參ツタノデアリマス、更ニ「ガソリン」其ノ他資材ノ統制強化ノ爲ニ、非常ナル不安ヲ抱イテ居ルノデアリマス、私共ハ此ノ議會ヲ通ジテ色々御尋フシテ、サウシテ政府ノ意見ノアル所モ御發表ヲ願ツテ其ノ真相ヲ業者ニ傳ヘテ、安ンジテ此ノ運輸報國ノ重大使命ヲ果サセタイ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、段々御話ガアリマシタヤウニ、自動車運輸事業ガ、運賃、及ビ運送料ニ於キマシテモ、國有鐵道ニ匹敵スルヤウニナリマシテ、産業上、生活上、非常ニ重要性ヲ持ツヤウニナツタノデアリマス、殊ニ此ノ貨物自動車ガ國防上ニ有スル使命ガ非常ニ重大デアリマシテ、今後優秀ナル自動車ヲ、而モ多量ニ確保スルト云フコトガ必要デアリマシテ、法律上貨物自動車運送事業ト云フ一個ノ形態ヲ認メラレルヤウニナツタノデアリマス、又之ヲ中心ニシテ組合制度ガ創設サレテ、特色アル規定モ設ケラレタノデアリマス、

其ノ内容ハ頗ル廣汎デアリマシテ、隨テ一般ノ自動車運輸事業ト此ノ貨物自動車運輸事業トハ、事業ノ建前ニ於キマシテモ、使命ノ上ニ於テモ、可ナリ違ツタ點ガアルノデアリマス、ソコデ私ハ此ノ貨物自動車業法ト云フヤウナ單行法ガ出ルコトヲ期待シテ居ツタノデアリマスルガ、今回ハ全面的ノ改正ヲ以ツテ、單行法ガ出ラレナイヤウニナツタノデアリマスガ、是ニハ何カ別ニ理由ガアツタノデアリマスルカ、此ノ點ヲ先ヅ御聽キンテ置キタイト思フノデアリマス

○宮澤政府委員 御説ノ通りデアリマシテ、鐵道當局モ最初ハ貨物自動車ノ單行法トシテ提案シ、御審議ヲ願ヒタイ豫定デアツタノデアリマスガ從來ノ色々行掛リモアリ、他省トノ交渉、法制局等ノ意見モアリマシテ、遂ニ從來ノ自動車事業法ノ改正ニナツテ、貨物自動車ト云フモノヲ別ニ一ツノ役所ヲ設ケテ、取締運賃ニ當ルト云フ風ニナリマシタノデ、其ノ経緯ノ詳細ニ付テ他ノ政府委員カラ御必要ガアレバ御答辯申上ゲテモ宜シウゴザイマス

○伊東委員 簡單デ構ヒマセスガ其ノ真相ヲ承リタイト思ヒマス

○鈴木政府委員 ソレデハ大略申上ゲマスルガ、實ハ貨物自動車ノ單行法ヲ制定シヨウト思ヒマシタノハ、御承知ノ如ク貨物自動車ノ業態ヲ一免許ト致シマス關係カラ、旅客自動車トハ別ナモノデモ宜カラウ、或ハ組合ノ問題モ旅客ヨリハ貨物ノ方ガ

緊切デハナイカト考ヘマシテ、サウ云フヤウナ色々ナコトデ單行法ヲ考ヘタノデアリマス、ソレデ法案ヲ色々吾々ガ練ツテ參リマスルト、組合ノ問題モ兩方共通ノモノガ宜シイ、又組合ニ對スル商工省トノ話モ、旅客モ貨物モ諒解ヲ得ルヤウナ結果ニナリマシタシ、財團ニ於キマシテモ單行法ト致シマスルト、過渡的ニ色々ウルササガ多ク生ジマスシ、實質ニ於テハ單行法ト同ジヤウナ結果ヲ改正ニ於テ得ラレマスノデ、此ノ交通事業法改正デヤツタ方ガ旅客自動車モ良クナルシ、貨物自動車モ良クナル、斯ウ考ヘマシテ交通事業法ノ改正ヲ致シタノデアリマス

○伊東委員 私共ノ考デハ運輸事業ト運送事業トハ其ノ目的ガ非常ニ違ヒマスシ、尙ホ貨物自動車ノ方ニ於キマシテハ、將來國防上ノ見地カラ考ヘマシテモ、其ノ他ノ運輸事務カラ申シマシテモ非常ニ違フ所ガアリマスカラ、是非單行法デ總テノ方面ヲ整備シテ戴ク方ガ非常ニ良イト考ヘテ居リマシタケレドモ、只今一緒ニスルコトガ宜イト云フ御答辯デアリマシタ、尙ホ斯ウ云フ問題ニ付キマシテハ、他日改正サレル點モアリマセウ、大體諒承致シマシタ、尙ホ自動車行政ノ問題ニ付テ御尋致シマスルガ、由來自動車ハ内務省ノ所轄事務トシテ、府縣デハ警察部ノ保安課ノ管轄デ、總テ保安警察的ノ立場カラ之ヲ行政致シテ居ルノデアリマス、然ルニ現在デハ免許モ鐵道省ノ監

督下ニ移サレタ今日ニ於テハ、私ハ警察色ガ濃厚デアルコトハ宜クナイ、警察色ノ濃厚ナ行政權カラ引離シテ、明朗色ノアル寧ロ鐵道省ノ直接ノ所管ニシタイ、殊ニ組合制度ガ確立サレマシテ、單ナル監督權カラ指導のナ、政治的ナ助長行政ニ進ムヤウニナツタノデアリマス、尙ホ「ガソリン」ノ配給或ハ資材ノ配給、資金ノ問題等、寧ロ商工行政ノ領分ニ入ツタノデアリマス、而モ自動車ガ交通運輸上大キナ役割ヲ持ツノミデナク、國防上ノ關係カラ致シマシテモ非常ニ重要ナ譯デアリマスノデ、私ハ寧ロ府縣デハ自動車課ヲ獨立サシテ、自動車行政ノ獨立ヲ希望スル者デアリマス、此ノ點ニ付テ鐵道當局ハ如何ニ御考ニナリマスカ御同致シマス

○鈴木政府委員 只今ノ御話ハ御尤モナ御意見デゴザイマス、自動車行政ニ對スル權限ガ各省ニ分屬シテ居ル、又其ノ爲ニ地方——一縣廳ノ中ニ於テモ、部ニ依ツテ分レテ居ルト云フコトガ色々ト業者ノ方面ニ於テ御不便デアルコトハ、吾々モ御察申上ガテ居ルノデアリマスガ、中央ノ行政機構ハ別ト致シマシテ、地方ニ於キマシテモ全然鐵道ノ方面ダケデ此ノ自動車行政ヲヤルト云フ譯ニモ行キマセヌハ、自動車ハ道路ニ關スル關係ガ非常ニ多イト云フコトト、交通上ノ設備ニ關シマスル警察上ノ色々ノ取締ガアリマスノデ、之ヲ鐵道省ノ方面ダケデ行フコトハ、當ヲ得ルヤ否ヤニ多少ノ疑問ガアルガラウト思フノデアリマス、併シナガラスウ云フ組合制度ニシ、自動車ノ發達ヲ圖ルヤウニ段々ナリマスニ於キマシテハ、内務省當局ト共ニ考ヘマシテ、縣ニ於キマスル自動車行政ニ付テ、モウ少シ色々ト

考ヘテ參リタイト思フコトガ吾々ニモアリマスノデ、色々ト打合せヲ致シテモ居リマスシ、又色々カラモ打合フシタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○伊東委員 地方ニ於キマシテハ自動車行政ガ、只今デハ警察ノ專屬ニナツテ居リマスノデ、其ノ點ニ非常ニ弊害ガ多イノデアリマスカラ、是非今後十分一ツ研究シテ戴キタイト思フノデアリマス、之ニ關聯致シテ一番大切ナル問題ハ免許權ノ問題デアリマス、免許ハ只今鐵道大臣ノ權限デアリマス、一部分ハ地方長官ガ許可スルコトニ相成ツテ居リマス、然ルニ其ノ免許ハ縣ノ副申ニ依ツテ之ヲ決セラレ、主務省獨自ノ見解決定スルコトハ殆ドナイノデアリマスコトニ相成ツテ居ル、此ノ點ガ吾々ハドウモ納得スルコトガ出來ナイ、苟モ地方長官免許カラ鐵道大臣ノ免許ニ移シタ付テハ理由モアルガラウト思フ、根據モアルガラウト思ヒマスガ、ドウ云フ譯デハ一體鐵道大臣ノ免許權限ニ移シタノデアリマスカ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○鈴木政府委員 是ハ旅客自動車トナリマス、旅客ノ運輸事業ハ鐵道大臣ノ權限ニ屬シテ居リマスルコトハ今マデト同ジデアリマス、運送事業ガ地方長官ニ殘ツテ居ルコトモ同ジデアリマス、貨物自動車ノ方面ハ鐵道大臣又ハ地方長官ノ此ノ二ツニ本法ハ規定サレテアルノデアリマス、鐵道大臣ガ免許致シマス場合ニ於キマシテモ、固ヨリ地方長官ノ副申ヲ吟味シテ居リマス、鐵道大臣ノ權限ニ屬スルモノニ於キマシテハ、固ヨリ副申ヲ參考トシマスシ、副申ニ於テ當ヲ得ナイト致シマスレバ、鐵道大臣單獨

ノ考デテ免許シ得ラレルノデアリマス、又地方廳ニ於キマシテモ副申スル場合ニ於キマシテ、色々疑義ガアリマスレバ勿論吾々ノ方ト下交渉モ致シテ居リマスノデ、鐵道大臣ノ免許スル際ニ於キマシテハ、必ズシモ地方長官ノ副申通リニ始終ヤツテ居ルモノダトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、唯地方長官ヲ除クコトガ出來マセヌコトハ、御承知ノ如ク可ナリ鐵道ノ沿線カラ離レテ居ル地方モアリマスシ、又縣デアレバ其ノ縣一箇トシテ考ヘナケレバナラヌ色々ノコトモアリマスノデ、地方長官ヲ全然除去スルト云フ譯ニハ行カナイモノダト考ヘテ居リマス

○伊東委員 地方デモ自動車ノ免許問題デ色々弊害ガアリマスコトハ主務省デモ御承知ノ通りデアリマス、是非非常ニ大キナ問題デ特ニ此ノ免許制度ノ弊害ニ對シテハ再檢討ヲ加ヘナケレバナラナイ幾多ノ問題ガアラウト考ヘマス、私ハ其ノ點ハ後段ニ於テ更ニ御尋シタイト思ヒマスルガ、先ヅ從來ノ競爭營業ヲ廢シマシテ、只今デハ合同單一ノ營業化ヲ圖ツテ居ラレルノデアリマスカ、其ノ結果トシテ所謂獨占營業ノ弊ニ非常ニ陥リ易イコトハ必然的デアリマス、大體只今ノ許可方針トシテ、一路線一營業者主義或ハ二營業者或ハ三營業者主義、其ノ何レヲ只今選バレル方針デアリマスカ、餘リ統制シ過ギルト、ソレ自體私ハ非常ニ良クナイヤウニ考ヘルノデアリマスルガ、此ノ方針ニ付テ御同致シマス

○宮澤政府委員 仰セノ通りデゴザイマスガ、全然統制致シマスコトノ弊害モゴザイマスガ、從來ノ經過ニ依リマス、如何ニモ小企業者ガ多ウゴザイマスカラ、ソコニ

無駄ノ競爭ガアリ、中ニハ採算ヲ度外視シタ運賃ナド營業ヲヤリマス結果、粗末ナ車ヲ使ツテ運送上ニモ非常ナ弊害ガアリ、荷主ニモ非常ナ迷惑ヲ掛ケルト云フヤウナ例モアル、又御承知ノ「ガソリン」其ノ他ノ資材ヲ得マス上ニ於テモ、合同シテ當リマシタ方ガ、營業者ニ利益デアルト云フ點カラ致シマシテ、色々ナ點カラ企業合同ト云フコトヲ、成ベク勸誘シテ居ルノデアリマス、強制ハ致サヌノデアリマス、寧ロ其ノ調節宜シキヲ得テ事業ノ堅實性ヲ圖リ、運賃ノ妥當性ヲ圖ツテ、事業者モ委託者モ共ニ堅實ナル輸送業ノ目的ヲ達スルヤウニ致シタイト云フヤウナ考カラ、サウ云フ傾向ニア

ルノデゴザイマシテ、之ヲ強制的ニ合同セシメテ、獨占ノ弊害ニ陥ルコトノナイヤウニ注意致シテ居リマスコトハ固ヨリデゴザイマス、運賃等ノ點ニ付キマシテモ、ヤハリ今回組合制度ナドガ出來マシテ、運賃ノ協定ヲヤラシタリ、政府トシテモ運賃ノ決定ニハ參畫シテ色々指圖致シマスノニモ、此ノ組合制度ガ關聯シテ出來ル譯デ、寧ロ之ニ依ツテ益、斯業ガ發達シ、依頼者ニモ便宜デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス

○伊東委員 統制方針トシテハ、只今政務次官ノ仰ツシヤツタ通りデナケレバナラヌト私モ深く信ジテ居リマス、殊ニ強制的ノ統制合同ヲ警察ガ命ズルト云フヤウナコトハ、決シテアツテハナラナイコトダト思フノデアリマス、尙ホ先程ノ質問ニ一路線主義カ二路線主義カ三路線主義カト云フ御尋ヲ致シマシタガ、是ハ後刻御答ヲ得タイト思フノデアリマス、更ニ此處デ御尋シテ置キタイコトハ、只今自動車ノ合同ト云フコトガ地方デハ警察ノ強壓下ニ進メラレテ居ル

ノデアリマス、勿論公益上ノ立場カラノ合同ノ必要ナモノハ、知事ヤ警察部長、警察署長ガ、之ニ關與スルコトハ當然ナコトデアリマス、此ノ點ニハ異議ハナイノデアリマス、然ルニ餘リ官憲ガ干涉スルト云フコトハ、斷ジテアツテハナラナイ、又只今ノ御答辯デモ決シテ強壓的ナ統制方針デヤナイト御答辯ガアツタノデアリマス、然ルニ地方デハ事實ニ於テ統制ノ名ニ隠レテ極端ナ干涉ヲ爲シテ、民業ヲ壓迫致シテ居リマスル關係上、營業者ニ於キマシテハ、之ニ對シテ一大反響ヲ爲シ、又非常ナル不平不滿ガ勃發致シテ居ルノデアリマス、其ノ事實ハ各縣ニ吾々ハ澤山耳ニシテ居リマス、尙ホ關西ノ某縣デハ此ノ弊害ガ益、高マツタ爲ニ、或ル警察部デハ重大事件ガ發生シテ居ルト噂ニ聞イテ居リマスガ、其ノ真相等ニ付テ承ツテ置キタイト思フノデアリマス、尙又合同ニ對スル警察ノ彈壓ニ對シテ各府縣ニ起リマシタ事實ニ付テ、本省ハ既ニ御調査濟ダト考ヘテ居リマスガ、私カラ例ヲ引イテ申上ゲマス、其ノ數ガ多イノデアリマスカラ、此ノ點等モ合セテ御發表願ヒタイト考ヘマス

○宮澤政府委員 前ニモ申シマシタ通り、主トシテ合同ハ消費規正ニ關聯致シマシタリ、事業經營ノ合理化ト云フコトヲ主ニ致シマシテ、サウシテ成ベク業者ノ自發的ノ合同ヲ獎勵促進セシムルヤウナ風ニヤツテ居ルノデアリマシテ、官憲ガ之ニ立入ツテ強制的ニ合同ヲ勸メルト云フコトハ成ベク之ヲ避ケタイト思ツテ居リマス、唯合同ハシタイガ色々々々從來個人的ノ感情等ガアツテ、合同ガ旨ク行カヌト云フヤウナ場合ニ、其ノ事ヲ聞ギ、或ハ一方ノ陳情ナドガアリマ

シタ場合ニ、地方廳邊リヲ兩當事者ヲ寄セテ斡旋妥協ノ途ヲ講ジタ場合モアルヤウデアリマスケレドモ、只今御話ノヤウナ目ニ餘ルヤウナ壓迫的ニ合同ヲセシメタト云フヤウナ事例ハ私達ハ存ジマセヌ、或ハ他ノ政府當局ガ存ジテ居レバソレニ對スル答辯モ出來ルグラウト思ヒマスガ、大體ハ其ノ方針デ鐵道當局ハ進シテ居ルノデアリマス

○鈴木政府委員 只今政務次官カラ申サレマシタヤウニ、鐵道ト致シマシテハ、ガソリンノ消費規正ガ非常ニ強クナツテ參リマシタノニ、或ル少イ部分ヲオ互ニ分ケマスル際ニ於キマシテハ、能率ノ上ルヤウニ、又各業者ガ最も有效ニ働ケルヤウニシナケレバナリマセヌノデ、同ジ地域ニ或ハ並行路線デアツタリ、或ハ殆ド使用地ガ同ジヤウナモノハ、或ベク資本的ニ合同ガ出來レバ合同シテモ宜シイガ、若シ出來ナイモノナラバ、共同經營デモ宜シイ、運輸協定デモ宜シイガ、何トカ纏マツタ方ガオ互ノ爲ニナリ、又サウ勸メテ欲シイモノダト云フ風ニ希望シテ居ル者デアリマスガ、決シテソレヲ強要スルヤウナコトナク、唯業者ガ望ミ、或ハ非常ニ弊害ガ多カツタシ、心デハ望ンデ居ルガ、今政務次官ノ言ハレタヤウニ行掛リカラ出來ナイト云フヤウナモノハ、縣ガ仲裁ニ入ルヤウニナツテ居リマス、併シナガラ只今申サレタヤウナ言葉ハ時ニ私モ耳ニ致スノデアリマス、是ハ遺憾ダトハ思ヒマスガ、私ノ方ノ手許ニ、今マデ報告ノ參リマシタモノニ付キマシテハ、共同經營ヲヤリマシタリ、運輸協定ヲヤリマシタリ、或ハ合同シタリシタ計數ガ參ツテ居リマシテ、サウ經緯ノ複雑シタ報告ヲ正式ニハ何モ受ケテ居リマセヌ、併シナガラ時ニ耳ニ

致シマスノデ、是ハ私ノ方モ注意致シマスガ、サウ云フ事實ノアル業者其ノ他ガアリマシタナラバ、其ノ具體的事件ニ付キマシテハ、内務省ナリ或ハ地方廳トモ相談シテ見タイト思フノデアリマスガ、未ダサウ云フ相談スルヤウナ具體的事件ニマデマダブツカリマセヌノデ、今マデハシテ居ラナカツタノデアリマス

○伊東委員 只今ノ問題ニ付テハ、私ハ各府縣ニ於ケル具體的ノ事實ヲ握ツテ居ルノデアリマス、モウ少シ質問ヲ進メタ後デ或ハ具體的事實ニ付テ御質問スルカモ知レマセヌガ、大體警察部ガ自動車合同ニ干與致シマスル最初ノ考ハ、惡意カラ出發スルモノデハナイヤウデ、御話ノヤウニ時局性ト公益性ト立場カラ統制ト云フモノヲ計畫シテ業者ニ勸メルノデアリマス、併シ官僚ノ「テールプラン」ノ成功欲ヲ満足セシムル爲ニ、ドウモソコニ無理ガ出來ルコトガ其ノ一ツ、ソレカラ第二ハ斯ウ云フ合同ノ強制ヲスルコトハ、資本主義ガ合同ノ一ツノ正體ダト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、サウシテ之ニ利用サレテ遂ニ公共性ト云フモノガ、統制ノ方便ノ言葉ニ終ルト云フヤウニ私共ハ見テ居ルノデアリマス、茲ニ官僚ノ干渉ガアリ、獨善的統制ノ弊害ガ起ツテ來ルノデアリマス、私ハ先程御話ノヤウニ合同ト云フモノハドウシテモ業者ノ自治的、自發的ノ自然ノ儘ノ姿デ、無理ヲシナイ所ニ合同ガナケレバナラナイ、併シ時局性カラ考ヘマスルナラバ、是ハ或ル一部分ノ無理モセネバナラナイト考ヘテ居リマスルケレドモ、此ノ點ニ付テモウ一ツ御尋シテ置キタイコトハ、此ノ合同方針ハ無理ヲシナイ、斯ウ云フ御發表デアリマスルガ、事

實上ノ方デハサウ云フ工合ニ考ヘテ居ラレテモ、ドウモ地方ノ方デハ事實ハサウデナクシテ、私共ハ此ノ點指導的立場ニ依ツテ合同ヲ進メナケレバナラス、非常ニ弊害ガ起ルト考ヘテ居リマスルノデ、此ノ點ニ付テモウ一遍御答ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○宮澤政府委員 伊東君ノ今ノ御主張モ私共ノ考ヘテ居リマス點モ全然同ジデアリマシテ、寧ロ自然的ニ合同サルベキモノハ自然的ニ合同サシテ、事業ヲ強化スルコトガ最も正當デアリ、又望ム所デアルト云フ御主張デアリマスガ、其ノ點ハ全ク私共ト御同感デアリマスコトヲ喜ブノデアリマスガ、實際ノ合同致シマスル際ニ於ケル取扱ガ、ヤハリ色々々々干涉壓迫等ノ弊害ガアツテ、伊東君ハ隨所デ其ノ實例ヲ御承知ノヤウナ御話デゴザイマスルケレドモ、私共寡聞デアリマスカ耳ニシタコトガ、ナイノデアリマス、斯ウ云フ所ガ所謂官僚ノ獨善ト云フカ、事業ノ壓迫ニナツテ、却テ斯業ノ發展ヲ害スルノデアラカラト云フコトデ、當局モ耳ニ致シマシタ事能ク調査ラシ、能ク注意モ致シテ居ルノデアリマス、併シ多イ中デアリマスカラ當局ノ豫想致シマセヌヤウナ事例モアルコトデアラウコトヲ懼レテ居ルノデアリマス、將來地方長官ニモ能クコチカラノ氣持ヲ傳達致シマシテ、斯ウ云フ弊害ノ絶滅ヲ期スルヤウニ心配致シタイト思ツテ居リマス

○伊東委員 誠意ノアル御答辯デアリマスガ、實際地方デハ「バス」ノ大合同、「トラック」ノ大合同ニ對シテ非常ニ壓迫ガアルノデアリマス、地方デハキツト是ハ主務省ノ命令ダト斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居ルノデアリマス、

併シ今ノ御答辯ニ依ツテ、決シテソシナ命令ナドモ出サナレバ、サウ云フ無理ナコトハシナイ、自治的ニ、指導的ナ立場デ合同サセルンダ、斯ウ云フハツキリシタ御答辯ヲ得マシタカラ、此ノ點ニ對シテハ能ク諒承致シマシタガ、斯ク致シマスルナラバ、一體合同ト云フ一ツノ方針ガ主務省ニアルカ、其ノ合同ノ基準ヲ私ハ示シテ戴キタイト思フノデアリマス、無論其ノ基準ト云フモノハ大合同カ、中合同カ、小合同カ、無論各縣ノ事情、或ハ其ノ周圍ノ環境、或ハ「バス」デアリマスナラバ交通關係、或ハ「トラック」デアリマスナラバ貨物關係等ヲ考ヘテ一ツノ基準ガナケレバナライ、之ヲ全ク地方ノ官僚ニ一任スルト云フヤウナコトハ、是位危險千萬ナコトハナイト考ヘルノデアリマス、只今ハ資本家ニ殆ド買收セシメテ居リマス、資本家ニ買收セシムルコトヲ獎勵シテ居ルノデアリマス、此ノ公益性ヲ持ツテ居ル自動車事業ガ、資本主義ノ利潤ノ對象トナツテ居ルコトハ、私ハ適正デナイト考ヘテ居リマス、若シ只今ノヤウナ資本家ニ買收合同セシムルト云フ御方針デアラナラバ、寧ロ鐵道省ガ省營「バス」ノ經營ヲサレルコトガ一番宜イト考ヘテ居ル、然ルニ省營「バス」ノ經營ニ對シテハ、資本家ノ方カラ言フト段々是ガ反對サレルヤウナ點モアリマス、無論省營「バス」ノ缺點モアリマスケレドモ、只今ノヤウナ合同方針デ、資本家ニ積極的ニ買收セシムルト云フヤウナ考ヘ方ハ適當デナイ、サスレバ寧ロ省營「バス」ノ方ガ宜シイト云フ見解ヲ私ハ持ツテ居ルノデアリマスガ如何デアリマスカ

○宮澤政府委員 省營「バス」ハ主トシテ鐵道ノ輸送量ノ増大ヲ緩和スル一面ノ意味モアリ、他面鐵道本線ノ培養ヲスルト云フ意味モアリマシテ從來運營ヲ致シテ來テ居ルノデアリマスガ、只今寧ロ壓迫的ノ合同、或ハ其ノ資本家ノ兼併スル合同ヨリモ、鐵道省自ラ省營「バス」ノ運營ヲヤツテハドウカト云フ御意見デアリマス、私共モ鐵道省ニ入ツテ色々研究ヲシ——マダ日モ淺イノデアリマスケレドモ、成ベク從來ノ民業ハ民業トシテ發達セシムル、ソレニ色々ノ缺點ガアリ、弊害ガアリマスナラバ、今後ソレヲ指導シ、監督シテ、サウシテ其ノ事業ノ改良發達ヲ圖ツテ行クコトガ建前デアラケレドモ、取ツテ代ツテ民業ヲ皆官營ニスルト云フヤウナ建前ハ此ノ際止メナケレバナラスト云フ方針ヲ考ヘテ居リ、大臣モ其ノ意見ダト承知シテ居ルノデアリマス、サウ云フ意味デアリマスカラ、成ベクハ合理的ニ民業ヲ發達セシムルヤウニ、指導啓發ヲスルト云フ考デ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ一部ノ資本家ガ之ヲ壟斷シテ、其ノ事業ヲ資本家ノ手ニ取ツテシマフト云フコトモ、極メテ其ノ大方針ニ悖ル譯デアリマス、ケレドモ餘リニ貧弱ノ資本デ非合理的ノ經營ヲ致スト云フコトハ却テ本人ノ爲デモナク、民業ノ爲デモゴザイマセヌノデ、無理ノナイ範圍内ニ於テ、妥當ノ合同ヲ爲サシメテ、サウシテ協力シテ此ノ運營ヲ行ヒ、民間事業ノ發達ヲ期シテ行クト云フコトガ政府當局ノ執ルベキ方針デハナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、小經營者ガ一臺カ二臺ノ「トラック」ヲ持ツテ居リマス場合デモ、成ベク「トラック」ヲ其處ヘ賣ツテシマヘ、買取レト云フヤウナコトヲヤリマセヌデ、其ノ車ヲ持ツテ株主ニ入ルトカ企業家ノ一人ニ割込シテ行ツテ勞

務ニ携ハリ、利益ノ均霑ニ與カルト云フヤウナ方針デ將來企業合同ヲヤツテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○伊東委員 自動車經營ニ對スル狙所ハ私モ左様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、左様ニ考ヘマス時ニ、實際ノ合同方針ガ洵ニドウモ附ニ落チナイ合同ヲ進メテ居ルバカリデナク、只今其ノ方向ニ進ンデ居ルノデアリマス、私ハドウシテモ民業ノ獨自性ヲ認メテ之ヲ育上ゲテ行クコトガ宜イ、斯様ニ考ヘテ居リマス、併シ事實ハサウデナク、非常ナル壓迫ヲ加ヘテ合同ヲヤツテ居ルノデアリマス、然ラバ御尋致シマスガ、先程カラ申上ゲルヤウニ地方ニ依ツテ大キナ合同ノ必要ナ場合モアリマセウ、或ハ小キイ合同ガ必要ナ所モアリマセウ、之ニ付テ私ハ主務省ニ一ツノ目標ガナケレバナラスト思フ、此ハ目標ヲ示シテ貰ヒタイ、其ノ目標ヲ御示シナツテ——其ノ目標タルヤ大合同ニ依ル收支關係、中合同ニ依ル收支關係、小合同ニ依ル收支關係ガアツテ初メテ斯ウ云フ方針デ合同セシムルノガ宜イト云フコトガハツキリスルノデアリマス、例ヘバ「バス」ノ如ク一定ノ路線ヲ營業トスルモノハ、大合同ヲスルコトガ有利ノ場合ガ多イノデアリマス、併シ「ハイヤー」トカ「タクシー」トカ、殊ニ貨物自動車ハ、貨物其ノモノガ散在シテ固定致シテ居ルノデアリマスカラ、寧ロ營業者ガ散在シテ居ルコトガ便利ナノデス、之ヲ無理ヤリニ合同セシムルコトハ宜クナイノデアリマス、故ニ貨物自動車ノ合同ノ如キハ、地方ニ依ツテ違ヒマスケレドモ、大體二十臺前後ヲ一ツノ合同體ニスルコトガ一番適當ノヤウニ考ヘルノデアリマス、サウシテ而モ此ノ程度ノ合

同ニ依ル組合ノ共同經營ニサスコトガ宜イ、只今ノヤウナ資本家ニ買收ヲ積極的ニ獎ムルト云フヤリ方ハ、先程政務官ノ御話ニナル所ノ民業ヲ其ノ儘ニ育デテ行クト云フ趣旨ト一致シナイノデアリマス、現在免許ヲ持ツテ居ル業者ハソレデ生活シテ行クノデアリマスカラ、成ベク自然ノ儘ニ育デテ行ク、但シ現在デハ資本關係其ノ他色々ノ關係ガアリマスノデ、之ヲ組合組織デ經營ヲ合理化スル、又組合ト云フモノガ本法ニ於テ特ニ認メラレタ點モ茲ニアルト思フノデアリマスガ、右申上ゲルヤウナ具體的數字ノ問題ニ付テ御答ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○鈴木政府委員 合同ノ方針デゴザイマスガ、「バス」ニ付キマシテモ必ズシモ大合同ガ宜イト云フコトヲ申シテ居ルノデハナイノデアリマス、「バス」ノ路線デアリマスレバ鐵道ニ並行シ或ハ「バス」相互間ニ於テ重複シテ居ルヤウナモノ、或ハ非常ニ地域ヲ共通ニシテ居ルヤウナモノ、サウ云フヤウナモノハ或ハ合同スルノモ宜カラウシ、或ハ共同經營スルノモ宜カラウ、或ハ運轉回數ヲ協定スル、サウ云フ方法デモ宜イガ、兎モ角モウ少シオ互ニ經營ノ合理化ヲ圖ラナケレバイカヌト云フコトノ考ノ下ニ指導シテ居ルノデアリマス、「タクシー」ニ至リマスト、是ハ合同ノ方針ト致シマシテモ、其ノ土地、地域ニ依ツテ非常ニ違ヒマスノデ、或ル部面ハ自發的ニ自然ニ統合サレテ居ルモノモアリマスシ、或ハ「バス」企業者自身ガオ互ニ企業合同ヲヤツテ居ル地方モアリマスシ、或ハ先程申サレタヤウニ「タクシー」ソレ自身ガ組合ヲ作ツテヤツテ居ルモノモアリマス、貨物ニ於キマシテモ同様デ

アリマシテ、吾々が決シテ大合同ヲ主張シテ居ルモノデモ何デモナイノデアリマシテ、唯現在ノ日本ニ於キマシテ一輛持ガ餘リニ多過ギル、一輛持ガ多イト云フコトハ、互ニ不當競争ガ多イシ、良質ノ車ヲ國內ニ保有スル所以デハナイ、又微發スル時ニモ非常ニ不便デアル、サウ云フ考ヲ以テ成ベク水準ガ昂マルコトヲ望ンデ居リマスガ、ア云フ方法デアレ、斯ウ云フ方法デアレト云フコトヲ吾々が指示スルコトガ却テ或ル種ノ壓迫ヲ加ヘルモノダト思ヒマスノデ、所謂合同ノ標準ト云フモノヲ指示シテ居ラナイノデアリマス、今度此ノ法律ニ於テ自動車ノ組合ヲ認メマシタノモ、結局合同ト云フコトヨリハ各個人ト申シマスガ、各事業者ヲ其ノ儘經營サセテ行ク、サウシテオ互ニ協力シテ運賃及ビ輸送ノオ互ノ統制ヲ圖リタイ、斯ウ云フ趣旨デアリマシテ、此ノ組合制度ヲ認メタ其ノコトガ、サウ合同ヲ強制ツテ居ルモノデナイト云フコトヲ立證スルモノデアルト私ハ考ヘテ居リマス

○伊東委員 私モ只今御答辯ノヤウナ趣旨デ進マナケレバナラスト考ヘテ居リマスガ、事實地方ニ於テハ只今ノ合同ノ方針ノ如キ御話トハ全ク違フノデアリマス、現在地方ノ自動車業、殊ニ「トラック」ノ如キハ一臺カ二臺或ハ三臺ヲ持つテ個人デ、家族總掛リデ營業ヲヤツテ居ル、ソコニ日本ノ自動車營業ノ妙味ガアルノデハナイカ、斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居リマス、ソコデ政府ニ於キマシテモ、一臺、二臺、三臺ノ個人營業デハ、經營ノ合理化ガ出來ヌカラ、ソコニ共同ノ利益ヲ増進スル爲ニ、組合ヲ作ツテ、而カモ組合ノ仕事トシテハ、共同仕入、共同施設、資金ノ貸付、貯金ノ受入、債務ノ保

證等ヲ目的トシテ此ノ改正法律案ニ立派ニ現レテ來タト云フコトハ、私共ノ豫々考ヘテ居ツタコトガ茲ニ現レタコトヲ非常ニ喜ブノデアリマス、然ルニ今一例ヲ申上ダマス、只今合同ヲ獎メテ居ル地方警察アタリノ方針トシテハ、大體現物出資ニ依ル會社組織ヲ強制的ニ命令シテ居ルト云フヤウニナツテ居リマシテ、各縣左様ニナツテ居ルヤウデアリマス、但シ會社ニ依リマス時ハ營業上非常ニ負擔モ重クナルシ、組合デアリマスナラバ、營業稅、所得稅、或ハ登録稅、資本利子稅ト云フヤウナモノノ特典モアリマス、又全國中ニハ商業組合デ今日マデ經營シタ所デ非常ニ良イ成績ヲ擧ゲテ居ル所モアルノデアリマス、昨年來宮崎縣ノ如キハ、或ハ商業組合デ自動車ノ共同管理ヲヤラセヨウト云フ計畫ヲ立テタ所ガ、縣ハ斷ジテ之ヲ退ケテ許可シナイ、一體自動車營業ヲ商業組合ナドデ經營出來ルモノデハナイト云フコトヲ頑張ツテ、飽クマデ會社ニ依ル合同ヲセヨト云フコトデ、又今日モ其ノ方針デヤツテ居ルノデアリマス、只今ノ御話ト實際地方デヤツテ居ルコトツレ自體ガ非常ニ矛盾ガアルノデアリマス、ドウシテモ此ノ矛盾ヲ改メテ戴カナケレバナラナイ、斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、是等ノ點ニ付テ主務省ハ何カ地方カラ御相談ヲ受ケラレタコトガアリマスガ、此ノ點同ツテ置キタイト思フノデアリマス

○鈴木政府委員 今申サレタ點ニ付キマシテハ、別ニ地方廳カラ相談ヲ受ケタコトハゴザイマセヌガ、ソレハ會社デナケレバカヌ、或ハ今組合ト申サレマシタガ、民法上ノ組合デオヤリニナルコトモ私ノ方ニ於テハ會社デナケレバカヌ、或ハ組合デナ

ケレバカヌ、サウ云フヤウナコトヲ申シタコトモナイノデアリマス、併シナガラ過去ノ經驗ニ依リマス、或ル種ノ事業ニ付キマシテハ、商業組合ノ行動ガ從來餘リ良ク行ツテ居ナカツタ所モアルヤウニ見受ケラレルノデアリマスガ、ソレモ併シナガラ具體的ノ調査ヲ私ノ方デシタコトデゴザイマセヌノデ、其ノ點モハツキリト申シ兼ネルト思ヒマス

○伊東委員 大體自動車業者ノ免許ノ方針及ビ合同統制ノ方針モ分リマシタ、殊ニ今度此ノ法律ノ中ニ組合制度ヲ設ケラレタト云フコトハ、小サイ業者ヲ救済スル唯一ノ方法デアルト考ヘテ居リマス、殊ニ今度此ノ自動車營業組合ト云フモノハ、商業組合ヲソツクリ其ノ儘ニ持ツテ來ラレタノデアリマシテ、又商業組合ト同ジヤウナ扱ヒニナツテ居ルノデアリマス、地方デハ斯様デアルト云フコトヲ御承知ニナツタ以上ハ、ドウカ今御考ニナツテ居ル此ノ方針ヲ實際地方ニ其ノ儘ニ行ハセルコトハ實際地方ノ業者ハ非常ニ弱ツテ居ルノデアリマス、此ノ點ヲ一ツ特ニ希望申上ダマシテ私ハ此ノ合同方針ニ付テハ此ノ點デ質問ヲ止メルコトニ致シマス

更ニ組合制度ト地方ニアル自動車組合、協會ノ問題ニ付テ御尋シテ置キタイト思フノデアリマスガ、只今各府縣デハ警察署管内ニ任意ノ自動車組合ヲ作ツテ、縣デ之ヲ聯合シテ自動車ノ縣ノ協會ヲ作ツテ居ルノデアリマス、是ハ組合ノ制度ヲ確立ト共ニ聯合會ガ結成サレルコトニナツタヤウナ場合ニ於テハ、協會ノ如キハ解散シテ之ニ代ツテ統合ヲサレルコトト思ヒマスガ、此ノ點如何デゴザイマスガ、從來ノ自動車協會

又ハ組合ハ警察中心主義デアリマシテ、監督ノ地位ニアリ、取締ノ權限ヲ持つテ居ル人達ガ組合ニ關係スルコトツレ自體ガ私共ハ宜クナイト思フ、幸ニシテ今回法制化サレタ所ノ組合ニハ警察官ヤラ官僚的ノ關係ガ斷タレルコトニナツタコトハ、洵ニ組合將來ノ明瞭性ヲ増進シテ、圓滿ニ發展スルコトト思フノデアリマス、私ハ初メテ制定サレタ此ノ組合制度ト既存ノ自動車協會トノ關係ニ付テ、ハツキリ御答ヲ戴クコトガ必要ダト思フノデアリマス

○宮澤政府委員 從來ノ組合ト今回新シク計畫致シテ居リマス組合トノ關係デゴザイマスガ、仰セノ通り各府縣ニ色々ノ組合ガアルヤウデアリマス、ソレハヤハリ政府ノ認メマシタ組合モアリマスシ、任意團體ト認ムベキ組合モアルヤウデアリマスガ、何レモ事業ノ改良發達ヲ狙ツテ出來タ組合デアアルニハ違ヒアリマセヌノデ、成ベク之ヲ尊重スル考デ居リマス、併シ組合ガ餘リ多岐ニ互リマス、組合ノ作用ヲ發揮シマスニモ色々ノ支障ガ出來、殊ニ經費ノ點等モ考慮致シマス關係上、成ベク從來ノ組合ハ今回出來マス組合ノ中ニ、吸收合併ト申シマスガ、合同サセルヤウニシテ、本法ニ依ル單一ノ組合デ業界ノ改良發達ヲ圖ツテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○伊東委員 今度ノ新シイ制度ノ組合ノ條項ハ非常ニ廣汎ニ互ツテ居ルノデアリマス、私ノ考デハ既存ノ任意的ノ組合、協會ト云フモノハ解散セシムル、或ハ東京トカ大阪トカ云フヤウナ大キイ所ハ特殊ノ事情モアリマセウガ、地方ニ於キマシテハ、此ノ新シイ制度ニ依ル組合ヲ作ラシテ、サウシテ此ノ組合ノ精神ニ依ツテ進ンデ行クト云フ

コトデナケレバナラナイト思フノデアリマ
スケレドモ、只今ノ御答辯デハ此ノ點ハツ
キリセヌヤウデアリマスガ、本當ノ主務省
ノ御方針ハ何處ニアルデアリマセウカ

○宮澤政府委員 大體御説ノ通り其ノ方針
デ居リマススケレドモ、之ヲ一時ニ極端ニ合
併サセマスコトノ色々ノ弊害ヲ考ヘマス時
ニ、漸進主義デ參リタイ、ソレモヤハリ前
ニ申シマスヤウニ、貨物自動車ノ改良發達
ヲ圖ルト云フ意味デ出來タモノデアリマス
カラ、組合ガ出來レバ組合ガ決ツテ直グニ
強制的ニ合併サセルト云フ方途ニ出デマセ
スデ、漸次組合一本ニシテ指導シテ行キタ
イ、斯様ニ考ヘテ居ルト云フコトヲ御答辯
申上ゲマス

○伊東委員 既存ノ組合ト新シイ制度ニ依
ル組合ノ關係ハ、漸進主義デ行クト云フ其
ノ點ハ、東京邊リハ別ト致シマシテ、地方
府縣ニ於キマシテハ、此ノ新シイ法制化サ
レタ組合一本デ行カレルト云フ方針ヲハツ
キリサレタ方ガ宜イト思ヒマス、既存ノ組
合ハ解散ヲ命ジテ、新組合デ行クト云フ方
針ヲ明瞭ニサレルト云フコトヲ希望致シマ
スガ、ヤハリ漸進主義デ行クト云フ御方針
デアリマスカ

○宮澤政府委員 成べく御説ノ通りヤリタ
イノデゴザイマススケレドモ、色々事情ガゴ
ザイマスノデ、極端ナル整理方針ニ依リマ
セヌデ能ク話合ツテ妥協點ヲ見出シテ、其
ノ方針ヲ導イテ行キタイ、斯ウ云フ考デア
リマス

○伊東委員 ソレデハ大體分リマシタカラ、
此ノ程度デ其ノ關係ハ措キマス、次ニ「ガソリ
ン」ノ「タイヤ」ノ配給ノ方針ニ付テ御尋致シ
マスガ、現在「ガソリン」ハ各縣ニ配當セラレ

タル量ヲ、各縣ノ警察部デ之ヲ各營業者ニ、
ソレハ一定メラレタ御方針デ配當シテ、「ガ
ソリン」券ヲ渡スコトニ相成ツテ居ルノデ
アリマス、今後組合制度ト云フモノガ確立
致シマス、其ノ事業ノ如キハ警察部ニ任
セルヨリモ、自然各縣ニ縣ノ聯合會ガ出來
マセウカラ、縣ノ聯合會及ビ各營業組合ヲ
利用スルト云フヤウナ方針デ行カレルト
ガ宜イト思ヒマスガ、此ノ點如何デアリマ
スカ、尙ホ「ガソリン」ノ配給ハ縣ニ依ツテ
違フノデアリマス、此ノ參考書ニ依リマシ
テモ「ハイヤー」ニ於キマシテハ一臺當リ東
京ノ六十二、廣島ノ四十九、熊本ノ五十四、
宮崎ノ五十六ト云フ工合ニ縣ニ依ツテ違ヒ
マス、貨物自動車ニ於キマシテモソレハ

縣ニ依ツテ違ヒマス、此ノ配給ノ標準ハ何
カ基準ガ定メラレテアルヤウニ思フノデア
リマスガ、其ノ目標及ビ其ノ基準條件ハド
ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、
無論東京ガ多イト云フヤウナコトハ、旅客
ノ多イト云フヤウナコトモ考ヘラレルト
デアリマス、又逆ニ貨物自動車ノ如キハ都
會ヨリモ田舎ノ方ガ餘計ニ一臺一月當リ配
給サレテ居ルト云フコトノ如キハ、田舎ノ
方ハ道ガ惡クテ、サウシテ貨物自動車ヲ利
用スル場所ハ大體極ク交通ノ不便ナ所デア
リマスカラ、特ニ此ノ點等モ考慮ニ入レナ
ケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、以上
申上ゲタコトハ私見デアリマスガ、一體本
省ノ方ニ於キマシテハ一ツノ基準ガアラウ
ト思ヒマスガ、此ノ點ヲ御示シ願ヒタイト
思フノデアリマス

○鈴木政府委員 第一「ガソリン」配給ヲ此
ノ組合デサセルカト云フ御話デゴザイマス
ガ、吾々商工省ト御話ヲ致シマシタ結果、

此ノ組合ヲ以テ配給ノ指定團體トシテ宜シ
イ、斯ウ云フ諒解ヲ得テ居リマス、ソレデ
アリマスカラ「ガソリン」配給權ニ付テハ此
ノ組合ヲ利用シタイト考ヘテ居リマス
ソレカラ「ガソリン」ノ消費規正ニ關スル
量ノ問題デゴザイマスガ、是ハ「バス」事業或
ハ「トラック」事業、「ハイヤー」「タクシ」或
ハ特殊車、斯ウ云フ區別ニ依ツテ大體ノ消
費規正率ヲ決メテ居ルノデアリマス、ソレ
ハ商工省ト相談シテ決メマシテ「ガソ
リン」消費規正ノ始マリマシタ時ハ十三年
五月デゴザイマスカラ、其ノ時ノ前年度ノ量
カラ其ノ規正率ヲ順番ニ當嵌メテ見マシテ、
ソレカラ順次實情ニ合ハナイモノヲ縣ノ要
求其ノ他ニ依ツテ整理シテ居ルノデアリ
マス、唯今御話ノアリマシタヤウニ東京ノ
「タクシ」ト、或ハ宇都宮ナラ宇都宮ノ「タ
クシ」ト消費率ガ違ヒマスノハ、コチラ
ノ示シテ居リマスモノハ大體ノ基準デアリ
マスノデ、其ノ基準ヲ目標トシマシテ、地
方ニ於キマシテハ實ツタ總量ノ中カラソレ
ゾレノ公益性ニ依ツテ多少ノ増減ヲ致シテ
居ルノデアリマス、ソレデ一ツノ「タクシ
」ナラ「タクシ」ノモノヲ見マス、東
京ト宇都宮ト違フト云フヤウナコトハアリ
マセウガ、大體ノ基準ハソコニ置イテ總量
ハヤツタノダ、サウ御考置キヲ願ヒマス

○伊東委員 「ガソリン」配給ヲ各府縣ニ決
定スルト云フ場合ノ仕事ハ、商工省デヤツ
テ居ラレルトデアリマスカラ、系統的カラ
考ヘマシテモ、ヤハリ今度出來ル商業組合
ニ依ツテヤツテ行クト云フ方ガ宜カラウ、
現ニ警察ニサウ云フ權限ヲ握ラシテ置クト、
斯ウ云フ弊害ガ或ル所デハアツタノデアリ
マス、合同ヲシナケレバ「ガソリン」ヲ吳レ

ナイ、ソコデドウモ業者ハ弱リ果デテ、「ガ
ソリン」ヲ貰ヘナケレバ營業ガ出來ナイカ
ラ、ソレデハ合同スルヨリ仕樣ガナイ、斯ウ云
フ事實ガアルノデアリマス、ガカラ警察ニ
何デモカンデモ握ラセルト、サウ云フコト
ヲヤリマスシ、今一番自動車業者ガ困ツテ
居ルノハ燃料デアリマスカラ、將來ハ自治
的ノ組合ヲ中心ニシテ配給サセルコトガ、
ソレ等ノ弊害ヲナクスル一ツノ方法ダ、斯
ウ云フ工合ニ考ヘテ居リマス

尙ホ此ノ場合ニ御尋致シテ置キタイコト
ハ、大體將來ノ「ガソリン」ノ配給量制限ト
云フモノハ是以上強化サレルノデアルカサ
レスノデアリカ、業者ノ一番心配シテ居ル
ノハ其ノ點デアリマス、ガカラソレ以上強
化サレルノダト云フコトガハツキリサレ
バ、業者ハ之ニ對シテ一ツノ心構ヘト一ツ
ノ對策ヲ講ズルコトニナルノデアリマス、
殖エルノ力殖エヌノ力、評判デハ此ノ次モ、
此ノ次モ段々減ルト云フコトデ、其ノ點ガ
非常ニ不安ナノデアリマス、此ノ點ヲハツ
キリシテ戴クト共ニ、之ニ對スル對策ヲ具
體的ニ御示シ願ツタ方ガ宜カラウ、斯ウ云
フ工合ニ「ガソリン」ハ將來減ルノデア
カラ、斯ウ云フ工合ニセヨ、其ノ結果トシ
テ只今木炭瓦斯發生器ヲ御獎勵ニナツテ、
之ニハ相當ノ助成金ヲヤツテドン、今デ
ハ勸メテ、又地方業者モ之ヲ實行致シテ居
ルノデアリマスガ、只今木炭瓦斯發生器ノ
取付狀態ハ各縣ドウ云フ工合ニナツテ居ル
ノデアリマスガ、是ハ後刻書面デモ差支
アリマセヌカラ御示シ願ヒタイト思フノデ
アリマス、國策カラ考ヘマシテモ、ドウシ
テモ是ハ木炭瓦斯發生器ノ設備ヲ獎勵スル
ト云フコトガ非常ニ急ニ迫ツテ居ル問題デ

アリマス、而シテ之ニ對スル獎勵ノ方法デ
アリマスガ、モウ少シ思切ツテ助成金ヲ與
レルコトガ宜イ、況ヤ農林省ノ近ク制定セ
ント致シテ居リマスル木炭瓦斯會社モ出來
ルノデアリマスカラ、是ト相呼應シテ此ノ
點ハ御考ナラナケレバナラヌ點デアルト思
フノデアリマス、モウ一ツノ問題ハ「ガソ
リン」ノ代用品ハ木炭バカリデハナイノデ
アリマス、ソレ以外ニモ無水「アルコール」
或ハ人工「ガソリン」等ガアルノデアリマシ
テ、或ハ御發表ノ出來ナイ點ガアルカモ知
レマセヌガ、出來ナイトスルナラバ、只今
配給シテ居ル「ガソリン」ノ何割位ガ本年無
水「アルコール」或ハ其ノ他ノ代用品トシテ
配給ガ出來ルカ、大體ノ所デ宜シイノデア
リマスカラ、此ノ點ヲ御示シテ願ヒタイト思
フノデアリマス、モウ一ツハ木炭瓦斯發生
器ハ「バス」若クハ「トラック」ハ附ケラレ
デアリマス、無論「ハイヤー」「タクシ」等
ニモ附ケラレナイコトハアリマセヌ、現ニ
木炭瓦斯ノ發生器ヲ附ケテヤツテ居ル所モ
アリマスケレドモ、是ハドウモ餘リ適當デ
ハナイト思ヒマスカラ、政府ノ方針トシテ
「バス」及ビ「トラック」ニ全面的ニ木炭ヲ使
ハセルコトニシテ、「ガソリン」ノ餘力ヲ「ハ
イヤー」「タクシ」ニモウ少シ廻ハスコトニ
サレナイト云フト、地方ハ勿論ノコトデア
リマスガ、東京方面ニ於キマシテモ困ツテ
居ルノデアリマスカラ、足リナイ「ガソリ
ン」ヲ適當ニ按排スルト云フ一ツノ策ヲ立
テラレルコトガ必要ダト思フノデアリマス、
殊ニ「ガソリン」ガナイ爲ニ地方デハ急病人
ガ出來マシテモ、ソレニモ應ズルコトノ出
來ナイト云フヤウナ實情ガアルノデアリマ
ス、折角醫者ヲ頼ミニ行ツテモ自動車ノ方

デ「ガソリン」ガナイカラ行ケナイ、又ナケ
レバ行ケナイ等デアリマス、斯ウ云ツタヤ
ウナコトハ一ツノ大キナ社會問題ダト考ヘ
テ居ルノデアリマスガ、是等ノ「ガソリン」
配給ノ色々ナル御方針ニ付テ承リタイト思
フノデアリマス

○鈴木政府委員 「ガソリン」ノ規正ガ今後
尙ホ強化サレルヤ否ヤト云フ問題デアリマ
スガ、是ハ來年度ノ物動計畫及ビ其ノ時ノ
國際收支、ソレ等ノ見透シヲ見極メテカラ
決ル問題デゴザイマスガ、今マダ交渉ガ開
始サレテ居リマセヌノデ、今私ノ所カラ何
トモ申上ゲ兼ネルノデアリマス、唯國際收
支ノ事情ノ關係カラ見テ、緩和サレルト云
フヤウナコトハ中々難カシイノデハナイカ
ト考ヘテ居ルノデアリマスガ、今私ノ所カ
ラ申上ゲラレマセヌガ、併シナガラ其ノ規正
率ニ對シマシテモ今ノ自動車運輸事業ガ非
常ニ重要デアルト云フコトト、ソレカラ自動
車業者ガ非常ニ經營上困ツテ居ルト云フ此ノ
二ツノコトハ、可ナリ強ク其ノ主務官廳ノ方
ヘ交渉シテ居リマスノデ、ソレニ依ツテ幾分
デモ規正率ヲ緩和シタイト考ヘテ居ルノデ
アリマス、次ニ「バス」及ビ「トラック」ノ代用
燃料ヲモツト積極的ニ使用シテ「ハイヤー」
及ビ「タクシ」ニ於ケル所ノ「ガソリン」ノ
規正率ヲ緩メ、斯ウ云フ御言葉デゴザイ
マスガ、「バス」ニ付キマシテハ御存ジノ如ク
約四七%位ニナリマスガ、其ノ位ノ代用燃料
車ヲ常備スルヤウニ本年指導シテ參ツタノ
デアリマス、ソレデ大體ニ於キマシテ
ハ、其ノ豫定數ノ方向ニ進ンデ居リマスガ、
色々ノ事情ガアリマシテ十分其處マデハ
進ミマセヌガ、大體ノ目標ニハ進ンデ參ツ
テ居リマス、「トラック」ノ方ハ其ノ代用燃

料車ノ使用率ハ少イノデアリマスガ、是ハ御
存ジノ如ク「トラック」ト「バス」トハ非常ニ性
質ガ違フ、一ツハ定期的ニ運轉サレルモノデ
アツテ、片方ハ要求ニ應ジテヤルモノデア
リマスカラ、代用燃料ヲ使用シテモ割合ニ
「バス」ノ方ガヤリ宜イ、斯ウ云フコトト、
モウ一ツハ成ルベク軍事上カラ、代用燃料
ヲ備付ケテナイ、直グ役立ツ車ヲ多ク持ツ
テ居リタイト云フ氣持モアリマスノデ、此
ノ二ツカラサウ規正率ヲ「バス」程高メラレ
ナイノデゴザイマス、ソレデ吾々ハ其ノ
「バス」及ビ「トラック」ニ於テハ代用燃料ヲ使
ツテ輸送力ヲ弱メナイデ、サウシテ「ガソ
リン」消費節約ノ目的ヲ達シテ行ク、其ノ
數量等ヲ配合セマシテ、其ノ代用燃料ヲ使
ハセテ居リマスノデ今急ニ「バス」及ビ「ト
ラック」ノ代用燃料ヲ強化スルコトニ依ツ
テ、「タクシ」「ハイヤー」ノ「ガソリン」ヲ
殖スト云フ譯ニハ行キ兼ネルト思ヒマス
○伊東委員 木炭ヲ代用燃料トシテ「トラッ
ク」及ビ「バス」ニドウノ程度マデ使ハシメ
ルト云フ御方針ニナツテ居リマスガ、本年
ノ所ハ四七%ト云フヤウニ御聽キシタノデ
アリマスガ、將來ドウノ程度マデ是ハ進メラレ
ルコトニナツテ居ルノデアリマスカ、是ハ
非常ニ大キナ問題デアリマス、ソレカラモ
ウ一ツ御聽キシタイコトハ、成程「ガソリ
ン」ガナイナラバ、木炭瓦斯ヲ代用スルト云
フコトハ、非常ニ必要デアリマスケレドモ、
營業者ノ立場カラ云フト、木炭瓦斯ヲ使ヒ
マス「エンジン」ガ非常ニ摩滅スル、其ノ銷
却率モ高マツテ來ル、其ノ他色々支障ガ
アルノデアリマシテ、是ハ畢竟スルノニ瓦
斯發生爐ノ不備ノ結果デハナカラウカ、左
様ニ考ヘラレマス、現在瓦斯發生爐ハ色々

澤山ナ種類ガアリマシテ、其ノ中ニハ良否
ガアリ、非常ニ其ノ差モ多イノデアリマス
ガ、此ノ瓦斯發生爐ノ優良品ヲ作ラセルト
云フコトニ付テ、本省デハ此ノ發明ニ對シ
テ之ヲ助成スルト云フヤウナコトハ非常ニ
必要ナコトダト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テ
ハ何等ノ計畫モナイノデアリマスカ、是モ
御聽キシタイ、モウ一ツノ問題ハ木炭ガ
「ガソリン」代用トナルヤウニナリマシテ、
愈、近キ機會ニ農林省カラ瓦斯炭ノ配給會
社ガ一千万圓ノ資本金デ出來ルト云フコト
ニナツテ居リマス、此ノ出資金ハ「バス」會
社ト販購聯下產業組合ガ一千万圓ノ出資ニ
當ルト云フコトニナツテ居リマス、ソコデ
此ノ出資ノ内容ガ、「バス」業者關係ガドレ
ダケ出スカト云フコトニ付テハマダ分リマ
セヌケレドモ、是等ノ出資關係等ニ付テハ
鐵道省ニハ必ズ交渉ガアツテ、能ク纏メラ
レルコトト思フノデアリマスガ、此ノ内容
ハドウデアリマスカ、私共ノ聞ク所デハ、
農林省ガ斯ウ云ツタヤウナ瓦斯炭會社法ヲ
作リマシテ、「バス」業者「トラック」業者ガ
之ニ出資スルト云フコトハ——自動車業ハ
非常ニ資本ヲ要シマス、車體ノ購入其ノ他
運轉資金ガ相當要ルノデアリマス、此ノ自
動車經營カラ言ヘバ、瓦斯炭ハ自動車經營
者ガ買ハナケレバ誰モ買フ人ハナイノデア
リマシテ、其ノ目的デ作ルノデアリマスカラ、
別ニソコマデ苦ンデ居ル自動車經營、而モ
非常ニ資金ノ要ル場合ニ、此ノ會社ニ出資
スル必要ハナイト私共考ヘテ居ルノデアリ
マス、自動車業者ガ買ハナケレバ買フ者ハ
ナイノデアリマスカラ、出資スル必要ハナ
イ、之ニハ鐵道省ト必ズ交渉ガアツタコト
ト思フノデアリマス、無論此ノ法案ハマダ

御發表ニハナツテ居リマセスケレドモ、モウ既に確定致シテ居ルノデアリマスカラ、此ノ内容ヲ御發表ニナツテ敢テ差支ナイト思ヒマスカラ、此ノ機會ニ御發表ヲ願ヒタイ
○鈴木政府委員 「ガソリン」車ノ代用車ヲ使フコトヲ更ニ殖スカドウカト云フ第一ノ質問デアリマスガ、今ノ所デハ此ノ間通達致シマシタ以上ノ計畫ハ持つテ居ラナイノデアリマス、併シナガラ「ガソリン」消費規正ノ狀態、其ノ他ヲ見テ其ノ計畫ニ付テ又論議ガ起ルカト思ヒマスガ、只今ノ所マダ其ノ問題ニ付テ論議サレテ居リマセス
次ニ瓦斯發生爐ノコトデアリマスガ、此ノ瓦斯發生爐ニ付テハ省營「バス」デハ非常ニ研究シテ居リマスガ、又私共ノ技師ノ方デモ色々研究ハシテ居ルヤウデゴザイマスルガ一體、此ノ發生爐其ノモノガ商工省ノ主管ニナツテ居リマスノデ、商工省ニ於テハ何カ企業合同ヲセシメテ改良ヲ圖ルトカ云フ噂ガゴザイマスガ、私共ノ主管デゴザイマセスノデ明確ニ申上ゲルコトハ出來ナイノデアリマス、次ニ木炭ノ配給會社デアリマスガ、是ハ「ガソリン」代用ノ木炭ノ生産ヲ確保シテ、配給ヲ正確ニスルト斯ウ云フ意味カラ作ラレノデアリマシテ、「バス」及ビ「トラック」ニ於テハ代用燃料ガ盛シニ用ヒラレル今日ニ於キマシテハ、此ノ會社ガ成立サレルコトガ「バス」事業者及ビ「トラック」事業者ニ對シテハ非常ニ便利ナモノト思ヒマスノデ、農林省ノ此ノ仕事ニ對シテハ吾々ハ非常ニ協力シタイト考ヘテ居リマス、其ノ資本金ノ幾許ヲ「バス」事業者ニ持タセルカト云フコトニ對シマシテハ、マダ私ノ方ニ對シテ正式ニ交渉ハナイノデアリマシテ、唯色々向フデ目算ヲ立テテ居ル

ト思ヒマスガ、何レ農林省デハ私ノ方ニ、此ノ「バス」業者ニ對スル資本ヲ持タセルトキニハ協力ヲ仰ギタイト言ヒ、又此ノ會社ノ運用ニ對シテモ、自動車事業者ニ對シテ密接ナ關係ヲ持つテ居ル鐵道省ノ協力ヲ得ナケレバ自動車事業者モ巧ク行カナイシ、會社モ巧ク行カナイ、會社設立ノ趣旨ニモ反スルカラ出來ルダケノ協力ヲ求メタイ、斯ウ云フコトヲ言ツテ參リマスノデ、此ノ法案ガ可決サレマシテ愈々實施スル時ニ方リマシテ、農林省ト吾々ノ方トハ密接ナ連絡ヲ圖ツテ、自動車事業者ノ利益ヲ受ケルヤウニ吾々ハ考ヘタイ、斯ウ思ツテ居リマス
○伊東委員 木炭ノ配給會社ノ出資問題ニ付テハ別ニ相談ヲ受ケテ居ラナイガ、唯協力ヲ求メルト云フ話ハアツタト云フコトデアリマス、是ハ非常ニ問題化サレテ居ル問題デアリマス、此ノ出資問題ヲ誰ニ出資セシムルカト云フコトハ、一千万圓ノ木炭會社ニ對シテ投ゲラレタ大キナ問題デアリマス、此ノ問題ガ鐵道省ニモマダ別ニ相談ガナイ、内容等ニ付テモ取極メガナイト云フヤウナコトハ洵ニオカシイト考ヘテ居リマスルケレドモ、私ハ其ノ通りダト信ジマシテ其ノ御答辯ヲ信ズル譯デアリマス、尙ホ關聯シテ御尋シタイコトハ、貴重ナル「ガソリン」節約ノ爲ニ登場致シマシタ木炭瓦斯自動車デアリマス、所デ此ノ木炭カラ發生スル一酸化炭素ニ依ル關係デアリマセウガ、運轉手ノ中毒事件ガ各地方ニ頻發シテ居リマシテ、新シイ問題ガ茲ニ一ツ投ゲ掛ケラレテ居ルノデアリマス、本件ニ對シテハ其ノ原因等ニ付テモ既に調査済ミダト考ヘテ居リマスガ、尙ホ此ノ豫防方法及ビ

運轉手ニ對スル指導對策等ニ付テ、如何ニ御考ニナツテ居リマスルカ、此ノ點ヲ御伺シタイト思フノデアリマス
○鈴木政府委員 一酸化炭素問題デゴザイマスルガ、各府縣モ非常ニ研究致シテ居リマスシ、吾々モ研究シテ居ルノデアリマスガ、研究ノ纏リマシタモノハ成ベク業者ノ方ニモ知ラセルヤウニ致シタイト思ツテ居リマスルケレドモ、マダ正式ニ其ノ豫防其ノ他ニ對スル結論ハ得テ居リマセス、併シナガラ結論ヲ得ナイデモ今後出來ルダケ業者ノ利便ヲ圖リ業者ガ諒知出來ルヤウナ方法ヲ講ジタイト思ツテ居リマス、先程木炭會社ノ御話ガアリマシタ、木炭會社ハ他省ノ關係デアリマスガ、尙ホ今法制局デキツト審査シテ居ルノデアラウト思ヒマスノデ、愈々腹案ガ出ル時分ニ至リマスレバ、或ハモット具體的ナ所ノ協議ガ農林省カラ吾々ニアルカモ知レマセス、ソレハ豫メ御含ミ置キ願ヒタイト思ヒマス

○伊東委員 尙ホ二三御尋シマシテ私質問ヲ終了シタイト思ヒマス、自動車ノ製造及ビ配給ニ關スル問題デアリマスガ、自動車製造ハ物動計畫ニ依ツテ其ノ數量ガ決定シテ居ルノデアリマス、隨テ軍用及ビ民需用ト云フモノガ標準ガ決ツテ居ルヤウデアリマス、所デ只今民需用ノ自動車ハ全ク配給ガナイノデ洵ニ困ツテ居ルノデアリマス、尙ホ輸入自動車ト云フモノガ全クナイノデアリマシテ國產品ニ俟タナケレバナリマセス、此ノ國產品ガ又ドウモ品質ガ惡イノデアリマスルガ、此ノ自動車ノ性質ノ優良ト云フコトニ付テ確信ガアルカドウカト云フ問題デアリマス、今一ツハ生産擴充計畫ト共ニ種々ナ貨物ノ數量ガ非常ニ殖ヘテ參リ

マシタノデ、隨テ自動車ヲ増サナケレバ輸送力ガナイト云フコトニナリマス、モウ一ツハ「ガソリン」代用ノ木炭ヲ使ヒマス、力ガ非常ニ弱クナツテ、隨テ積載量ヲ少クシナケレバナラナイ、茲ニ又車ヲ殖ヤサナケレバ輸送力ニ應ズルコトガ出來ナイト云フコトニナリマス、サウ致シマスルト車ハ出ナイヲ、貨物ハ多クナルヲ、木炭瓦斯ノ爲ニ餘計ニ積メナイワト云フヤウナコトデ非常ニ困ルコトニナルノデアリマスガ、之ニ對シテ此ノ法律ヲ變ヘラレル趣旨モ、優良自動車ヲ成ベク豊富ニ確保スルト云フコトガ大臣ノ説明ニモアツタノデアリマス、此ノ點、事實ト違フノデアリマスガ、ドウ云フ風ニ御考ニナツテ居ルノデアリマスルカ、ソレガ一ツ、モウ一ツハ自動車ノ配給ノ方法デアリマスルガ、今マデノ所デハ製造會社カラ各縣ニアル販賣代理店ガ自動車ヲ受取ツテ、サウシテ營業者ガソレレノ方法デ購入スル、而モ代理店、特約店ガ二重三重ニアツテ、其ノ間ニ自動車營業者ノ手ニ入ルマデハ相當ニ澤山ノ手数料ヲ搾取サレナケレバナラスト云フ事情下ニアルノデアリマス、今度ハ組合制度ガ確立致シマシテ、各縣ニハソレレノ自動車組合ガ出來、縣ニ聯合會ガ出來ルノデアリマスカラ、將來ハ此ノ製造會社カラ直接聯合會ガ受ケ、之ヲ組合ガ受ケテ、組合員ニ配給スルト云フ制度ニシテ、特約店或ハ代理店ト云フヤウナ制度ヲ無クスル所マデ、組合ガ機能ヲ發揮スル時ニ、初メテ安イ品ヲ手ニ入レルコトガ出來ルヤウニナルガラウ、ソレガ又組合ヲ創設シタ新シイ制度ヲ設ケタ目的トモ一致スル譯デアリマスガ、是等ノ點ニ付テ如何ニ御考ニナツテ居リマスカ、伺ヒタイ

○鈴木政府委員 第一ノ質問ハ自動車ノ入手ガ非常ニ困難ナルト云フ御問デゴザイマスルガ、只今ノ生産擴充ニ於キマシテハ、代替車以上ノ増産ノ計畫ハ立ツテ居ルノデアリマス、其ノ數字ニ付キマシテハ申上ガ兼マスガ、サウ云フコトニナツテ居リマスノデ、自動車其ノモノハサウ入手困難ト云フコトハナイト思ヒマス、唯御懸念ナサル點ハ「タキシ」及ビ「ハイヤー」デアラウト思ヒマス、殊ニ「バス」ニ於キマシテハ、「バス」ハ割合生産量ガ少ク、「タキシ」「ハイヤー」ハ尙更其ノ生産ガ少イノデアリマス、是等ノ入手困難ナ問題ガ多イノデアリマスガ、全體トシテ見マスルト、所謂生産擴充計畫ニ於キマシテハ、代替車ソレ以上ノ増車計畫ニナツテ居リマスカラ、一ツ左様御承知ヲ願ヒマス

次ハ自動車ノ販賣店ノ問題デアリマスガ、商業組合ガ共同施設トシテ共同購入スルコトガ出來マス、ソレデアリマスカラ自動車ノ共同購入ノ施設ヲ任意組合デアレバ出來ルノデアリマスガ、ソレヲ製造業者カラ直接ニ仕入レルコトノミニシテ、特約店ヲ拔キニシタラ宜イデハナイカト云フ御議論デアリマスガ、其ノ自動車ノ配給其ノ他ニ對シマスル事柄ハモウ少シ商工省トモ交渉シテ見ナケレバ、向フノ組織モ能ク分リ兼ねマスノデ、組合ノ發展ト同時ニ御意見ノ程モアリマスカラ、商工省ト色々打合フシテ見タイト考ヘテ居リマス

○伊東委員 自動車ノ配給數量ガ不便ナハ「ハイヤー」「タキシ」「デアラウト」云フ御話デアリマス、無論其ノ點ハ特ニサウデアリマスケレドモ、現ニ今マデ「ガロン」使ツテ居ツタ「タキシ」「ハイヤー」ガ、今ハ

三「ガロン」シカ手ニ入ラヌノデアリマスカラ、自動車ノ耐久力ハ相當其ノ方面ニアルノデアリマスカラ、新シイ自動車ハ比較的ニ要ラナイノデアリマス、然ルニ「トラック」トカ「バス」トカ云フ方面ハ木炭瓦斯ニナリマシテ「エンジン」ノ摩滅率モ非常ニ殖エテ參リマスルノデ、多々益、數量ヲ増シテ貫ハナケレバナラナイノニ、從來ト變ツテ現在其ノ數量ガ少イノデアリマス、其ノ方面ハ不自由デハナカラウカト云フ御話デアリマスガ、實際不自由デ困ツテ居ルノデアリマス、併シハ物動計畫トノ關係モアリマスルノデ已ムヲ得スト致シマシテモ、此ノ方面ヲ御解決ニナラナイト、實際ノ生産擴充ト云フヤウナコトハ出來ナイノデアリマスルカラ、特ニ一ツ御配慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、モウ一ツハ商業組合ト共同仕入ノ問題ニ付テ御話デゴザイマスガ、只今商工省デハ商業組合ヲドシ「作ラシテ居ルノデアリマス、作ラシテ居リマスケレドモ、實際商業組合ノ本質、目的、其ノ機能ガ發揮サレテ居ラナイ、苟モコチラノ方ハ鐵道省獨自ノ立場デ自動車ノ一ツノ商業組合ヲ御認メニナルト云フ新シイ制度デアリマスルカラ、此ノ點ニ付テハ特ニ鐵道省獨自ノ立場デ御考慮ヲ願ヒタイト考ヘマス、尙ホ自動車バカリデナクテ、只今部分品ガ全ク拂底致シテ、品切ニナツテ居ルモノガ多イノデアリマス、ソコデ將來ハドウシテモ部分品ノ如キモ規格ヲ統制サレナケレバナラナイ、品種ヲ整理スルコトガ必要ダト思フノデアリマス、サウシテ其ノ線ニ沿ウテ部分品ノ増産ヲ計畫スルト云フコトガ必要デアリマス、所デ最近ハ部分品ノ拂底品切ヲ奇貨トシテ非常ニ價格ガ暴騰シテ業者ハ

弱ツテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ公定價格等ヲ制定スル御意思ハナイノデアリマス、併セテ「タイヤ」ノ配給ノ問題デアリマスルガ、大體只今ノ配給ハ「トラック」「バス」ニ對シテハ凡ノ間ニ合フヤウデアリマスケレドモ、再生護謨ヲ使ツテ居ル關係デ耐久力ガ從前ノ三分ノ一位シカナイト云フヤウナ有様デアリマスルガ、此ノ點ニ對スル對策ハドウデアリマス、更ニ人造護謨ノ「タイヤ」ガ出來ルト云フヤウナコトニナツテ居ルヤウデアリマス、耐久力モ非常ニアルサウデアリマスルガ、併シ生産費ガ高クテ價格ガ非常ニ高イヤウニモ承ツテ居ルノデアリマスガ、是ハ省營「バス」等ニ於テ既ニ御試驗等ガアルノデアリマスルカ、其ノ成績等ニ付テ御發表ガ出來得レバ御聽キシタイノデアリマス

○鈴木政府委員 「タイヤ」ハ先般申シマシタヤウニ大體二割位ノ規正ニナツテ居リマスガ、其ノ「タイヤ」ニ對スル人造護謨其ノ他ノ問題ニ付キマシテハ、私餘リ能ク存ジマセヌノデ、何レ他日御答致スコトニ致シマス

○伊東委員 運賃ニ付テ御尋致シテ見タイノデアリマスガ、各府縣ニ於テ大體協定致シマシテ、今ノ所デハ統制ノ軌道ニ乗ツタヤウデアリマス、此ノ適正運賃ノ問題ニ付テハ各縣デ可ナリ問題ガアルヤウデアリマス、就中貨物ノ賃銀等ニ付テハ「バス」其ノ他ノモノ以上ニ此ノ取極ガ困難デアリマスルガ、此ノ適正賃銀ニ付テハ大體省ノ方針ガアルナラバ御發表願ヒタイト思ヒマス、「タキシ」「ハイヤー」ハ「メートル」制ヲ都會デハ實施シテ居ルヤウデアリマス、之ヲ地方ニモ普及スルコトガ非常ニ必要ダト思

フノデアリマスガ、斯様ナ場合ニ於ケル「メートル」器ニ對スル助成等ニ對シテハ何モ御考ニナツテ居ラナイノデアリマス、此ノ點ヲ御伺シタイト思フノデアリマス、尙ホ此ノ賃銀ノ如キモ、夜間ノ時間外料金ノ如キハ値上シテモ之ヲ認メルコトガ宜イ、サウシテ一般ニ便利ヲ圖ツタ方ガ宜イ、夜中デアツテ雨天ノ時ノ如キハ、實際晴天ノ晝ト同ジヤウナ料金デハ業者ガ中々行カナイ、サウシタ場合ニ於テ乘客ニ非常ニ不便ガアル、是ハ「タキシ」「ハイヤー」ノ場合デアリマスルガ、是等ニ付テハ御考慮ハナイノデアリマスルカ、問題ハ小サイケレドモ、實際運用ノ上ニ於テハ多數ノ人ガ御困リニナツタコトガアルト考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點ヲ御伺致シテ置キタイト思フノデアリマス

○鈴木政府委員 運賃ノ問題デアリマスガ、第一「バス」ニ付キマシテハ、御承知ノ如ク大體認可運賃ガ確定運賃ニナツテ居リマスルガ、所謂九・一八ノ「ストップ」令ニ依ツテ是ガ九・一八ノ運賃トナツテ居ルノデアリマス、「ハイヤー」及ビ「タキシ」竝ニ「トラック」ハ以內運賃デアリマスルガ、其ノ以內運賃ヲ認可シテ居リマスルノデ、其ノ認可運賃ガ九・一八ノ運賃ニナツテ居ル、併シナガラ其ノ實收運賃ハ以內運賃ト隔リガアリマスルノデ、國民生活上成ベク實收運賃九・一八運賃ノヤウニ指導スルニ努メテ居ルノデアリマス、ソレガ大體今執ツテ居リマスル運賃政策デアリマスガ、今後ノ運賃ニ於キマシテ貨物ノ問題デアリマスガ、貨物ハ小口ノ場合ハ成ベク確定運賃ニシタイト考ヘテ居リマス、然ラバ其ノ確定運賃モ實際ハ運送距離ヤ或ハ品物ノ種類、或ハ地方ニ依リ

マシテ非常ニ異ルト思ヒマスルガ、ソレハ殊ニ組合ガ出來マスレバ、業者ノ方ガ色々相談シテ自治的ニ決メ得ルコトダト考ヘテ居リマス、貸切ノ方ニ於キマシテハ、小口ノヤウニサウ簡單ニナリマセヌ、得意ノ關係ガアリマシタリ、或ハ積下シノ關係ガアリマシタリシテ中々行キマセヌカラ、確定運賃トハ中々行カナイカト思ヒマスルガ、或ベク其ノ幅ヲ狭メテ運賃ニスルヤウニ指導シテ行キタイト斯ウ考ヘテ居リマス、

シ、特ニ一ツ御再考ヲ願フコトヲ御願致シテ置キマシテ、更ニ御尋致シマス、此ノ法ノ第十六條ノ七ニ「政府ハ貨物自動車ノ整備ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ貨物自動車運送事業者ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付スルコトヲ得」トアリマスガ、此ノ補助ノ内容、補助率等ニ付イテ御示シテ願ヒタイト思ヒマス、モウ一ツハ第十六條ノ二十八ニ「政府ハ自動車運送事業者ノ健全ナル發達ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ自動車運送事業者組合ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付スルコトヲ得」トアリマスルガ、現在ノ豫算額及ビ其ノ補助スル内容ニ付テ御示シテ願ヒタイト思ヒマス

例ヘバ雨ト言ヘバドノ程度ガ雨デアアルカ、ドコカラ取ツテ宜イカト云フヤウナ問題ガアリマシタリ、夜間運賃モ中々其ノケジメガ難カシカツタリ致シマスノデ、兎モ角熟考ヲシテ將來ノ様子ヲ見テカラ決メヨウト云フコトニナツテ居リマス、併シナガラ斯ウ云フ時節ニナツテ参リマス、此ノ問題ニ付テ吾々ハモウ一遍再考シナケレバナラスノカトモ考ヘテ居リマス、

○鈴木政府委員 豫算ノ方カラ申上ゲマシマス、豫算ハ兩方一緒ニナツテ居リマシテ五十九萬圓ト御存ジ置キヲ願ヒタイ、ソレカラ補助セラレマス所ノ補助ノ方法デアリマシマスガ、大體四年償却ト致シマシテ、其ノ四年償却ノ三分ノ一以內ヲ補助シタイト考ヘテ居リマス、補助セラレル所ノ車輛ハ使用後四年未滿ノ車輛デアリマシテ、積載噸數ガ一噸半以上ノモノ、ソレカラ補助セラレル業者ハ國有鐵道ノ培養トナルモノ、或ハ鐵道ノ輸送緩和トナルモノ、地方産業上特ニ有用ナル事業デ使ツテ居ル車カラ選ビタイト考ヘテ居リマス、サウシテ差上ゲマシタ補助金ハ新シイ車ノ取得ニ使ハナケレバナラスト云フ條件ガ付キマス、ソレカラ組合ノ方デゴザイマスルガ、組合ノ事業ハ差當ツテハ運賃或ハ輸送ノ統制ヲ圖ルコトヲヤル組合ニ於キマシテ、其ノ事務費ノ二分ノ一以內ヲ大體補助シタイト考ヘテ居リマス

○伊東委員 補助該當ノ自動車ハ四年未滿ト云フ御話デアリマスルガ、丁度三年ノモノハ一年ダケ補助ヲ受クル、斯ウ云フ工合ニ承知シテ宜イノデアリマスガ、ソレカラ組合ニ對スル補助ハ事務費ダケノヤウニ御話デアリマスルガ、是ハドウシテモ組合ノ事業ノ發達ヲ圖ル爲ニハ、組合ガ共同施設ヲヤル場合ノ之ニ對スル補助、即チ組合ガ共同車庫ヲ持ヘル、或ハ共同事務所ヲ持ヘルト云フヤウナ場合ニハ、ドウシテモ助成ヲサレルコトガ必要ダ、産業組合ノ方面ナドデハ之ヲ盛ニヤツタ爲ニ、農業倉庫ガ出來、或ハ大炭倉庫ガ出來タノデアリマスノデ、此ノ例ニ倣ツテ相當一ツ御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、モウ一ツハ商工省ノ豫算ニ共同施設補助ト云フモノガアルノデアリマス、例ヘバ組合用ノ自家用自動車ニ對シテハ半額ノ補助ヲヤツテ居リマス、六千圓ノ自動車ニ對シテ三千圓ノ補助金ヲ只今交付シテ居リマス、或ハ自動車ノ共同修繕所、或ハ「タイヤ」格納所、或ハ共同車庫ト云フヤウナモノニハ商工省ノ共同施設補助金ノ性質カラ取リ得ラレルト思フノデアリマスカラ、私ハ鐵道省トシテハ此ノ方面ヲ商工省ト打合セテセラレテ、此ノ自動車ノ共同施設ノ方ニ商工省ノ金ヲ取ルヤウニ御盡力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレハ商業組合ノ立場カラ行ツテ居ル自動車組合デアアルカラ差支ガナイト云フ私ハ見解ヲ持ツテ居リマス、モウ一ツハ商工省ノ豫算ニ、從業員ノ共同宿泊所、若クハ共同炊事場ニ補助金ヲヤルト云フヤウニナツテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマス、ドウシテモ事業ヲ合同シテ、サウシテ組合ヲ

作ツテ共同經營ヲヤルト云フヤウナコトニナリマスルナラバ、隨テ從業員ヲ一緒ニ共同宿泊セシメルト云フコトノ必要ニ迫ラレテ來ルノデアリマスルカラ、此ノ點ナドニ付テモ一ツ鐵道省カラ積極的ニ、斯ウ云ツタヤウナ豫算ヲ自動車業者ニ出來ル限り多ク吸收スルト云フコトニ御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマスルガ、以上ノ諸點ニ付テ御意見ヲ拜聽シタイト思ヒマス

○鈴木政府委員 商工省ハ商業組合ノ共同施設ノ爲ニ所謂補助ヲシテ居リマシタガ、此ノ自動車關係デ見マスルト、昭和八年カラ十四年ノ七箇年ノ間ニ約七萬圓足ラズノ金デアリマス、本法ニ於キマシテ此ノ組合ハ、共同施設ノコトモ全然考ヘナイ譯デアリノデアリマスルガ、兎モ角差當ツテハ先程申シマシタ運賃、輸送ノ統制ノ事務ノ補助ヲヤツテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、商工省ニ於ケル商業組合ノ補助ハ本法ノ施行前デアリマスレバ、向フノ組合ノ補助ガ出ルト思ヒマスルカラ、組合ノ方デハ施行前ニ商工省ト御交渉願ヒタイト思ツテ居リマス

○伊東委員 組合ノ健全ナ發達ノ爲ニハドウシテモ助成金關係ヲ御考慮シテ戴カナケレバナラスト思ヒマス、初メテ出來タ法デアリマスルカラ、初年度カラハ難カシイデアリマセウケレドモ、ドウカ將來ニ於テハ此ノ點ニ特ニ御考慮願ヒタイト思ヒマス、更ニ運轉手ノ保續ノ方法ト養成方法ニ付テ御尋致シマスルガ、近時一般營業者ノ困ツテ居ルノハ運轉手ノ問題デアリマス、或ハ「トラック」デアレバ助手ノ問題デアリマス、是ハ組合制度ガ新シク設ケラレマシタノデ、組合若クハ聯合會デ斯ウ云ツタヤウナ事業ヲ

ヤラセルカ、モウ一ツハ他ノ方法デ運轉手ノ養成ノ方法ヲ考ヘナケレバナラス、今ヤ私立ノ運轉手學校ト云フヤウナモノガアリマスルケレドモ、是ハ別ニモウ少シ考ヘナケレバナラスト思フノデアリマス、モウ一ツハ運轉手が只今少クナツタト云フコトハ待遇ノ關係カラダト思ヒマスルノデ、是ハドウシテモ營業者ノ自覺發奮ニ依ツテ、此ノ從業員ノ待遇ヲ顧慮スルト云フコトデナケレバナラスト思フノデアリマス、即チ給料、手當或ハ休養、醫療ノ問題、或ハ保健ノ問題、或ハ先程申上ゲタ共同宿泊所ノ問題、共同炊事場ノ問題、斯ウ云フ風ナ點ヲ相當考ヘナケレバ、ドウシテモ運轉手ヲ長ク保續スルコトガ出來ナイト考ヘルノデアリマス、ソコデ折角此ノ新制度ニ依ツテ組合ガ認メラレタノデアリマスカラ、此ノ組合ノ制度ヲ設ケラレル場合ニ於テ、ナゼ政府ハ運轉手ト從業員ニ關スル規律ヲ此ノ中ニ規定シナカツタカ、是ハ非常ニ大切ナ問題デアリマシテ、斯ウ云フヤウナコトヲ本法デ規律スルコトニ依ツテ本當ニ法ヲ改正シタ目的ニ適フノデアリマス、又業者モ此ノ點ヲ非常ニ希望致シテ居ルノデアリマシテ、私ハ此ノ運轉手及事業者ト、組合ノ新制度トノ關係ニ於テ此ノ規律ノナイコトヲ甚ダ遺憾ニ思ヒマスルガ、是等ノ點ニ付テ御意見ヲ承リタイト思フノデアリマス

○宮澤政府委員 斯ウ云フ組合ガ出來マス、色々ナ共同施設ヲヤルノデアリマスガ、是ハ單ニ自動車ノ修繕改良等バカリニ止メマセズデ、今ノヤウナ人的要素ノ教育ニモ當ルヤウナ施設マデモヤルヤウニナルノダラウト思フノデアリマスガ、是ハ主トシテ勅令ニ任スヤウニナツテ居リマシテ、本法

ニハ正確ニ規定シテ居ラスノデアリマス、尙ホ先ニ御話ガアリマシタ資金ノ金融等ノ問題デアリマスガ、補助金ハ餘リ多クハナイニ致シマシテモ、大體十五年度五十九萬圓デアリマスガ、其ノ中ノ五十萬圓ハ貨物自動車ノ補助ニ充テ、九萬圓ハ事務所ノ方ニ充テルト云フコトニ、大體ノ計畫ヲ立テテ居リマス、此ノ計畫通り參リマス、今ノ商業方面ノ補助ヨリモ少シ補助額ハ多クナルト云フコトニナリマス

ソレカラ又此ノ組合ハ此ノ立法ト同時ニ擔保權制度ヲ擴張致シマシテ、「バス」止マラズ「タクシー」貨物自動車等ニモ全體トシテ擔保權ヲ設定スルヤウナ風ニ、此ノ法律ニ依ツテ取扱ハレルコトニナツテ居リマス、モウ一ツハ商業中央金庫デゴザイマスガ、是モヤハリ低利資金ヲ融通致シマスヤウニ本法ニ依ツテナツテ居ルノデアリマス、御懸念ノ點モ、本法執行ノ曉ニハ相當緩和サレテ、業者ニ資金上ノ融通ナリ補助金ナリ潤フコトガ出來ヘスカト思ウテ居リマス

○伊東委員 モウ一點、小運送業法ト商業組合ノ關係ニ付テ實シテ置カナケレバナラス點ガアルノデアリマス、地方デハ地區商業組合ト云フモノガ主トシテ農村地帯ニ最近非常ニ發展ヲ致シテ參リマシタ、ソコデ其ノ商業組合デ共同運搬ノ目的ヲ以テ自動車ヲ持ツテ居ル組合ガアルノデアリマス、所デ此ノ商業組合ノ自家用自動車ト小運送業トノ關係デアリマスルガ、今般改正サレマシタ小運送業法ニ依レバ、驛ニ貨物ヲ運搬シ、又ハ驛カラ貨物ヲ運搬スル者ハ、鐵道省ノ許可ヲ受ケルコトニナツテ居ルノデアリマス、是ハ組合トシテ非常ニ大切ナ問題デ、今商業組合ノ方デハ非常ニ心配ヲ致

シテ居ルノデアリマス、地區商業組合ノ共同施設ハ主トシテ倉庫保管及ビ運搬事業デ、現ニ商工省ノ方カラハ自家用自動車トシテ半額ノ助成ヲ受ケ、サウシテ車ヲ持ツテ現ニ其ノ仕事ヲヤツテ居ルノデアリマスケレドモ、鐵道省ノ許可ヲ受ケナケレバ此ノ小運送業法ニ違反スルト云フヤウナコトニナツテ居ルヤウデアリマス、此ノ點ハ商業組合ガ非常ニ今困ツテ居ル點デゴザイマスガ、是等ノ組合事業ニ對シテハ無條件デ鐵道省ハ許可サレルコトガ宜イ、無論商業組合ガ公益的ノ立場カラ出來テ居ル組合ダト云フ意味合ニ於キマシテモ、又商業組合法ガ共同施設ト云フモノヲ獎勵シテ居ル立場カラ云ヒマシテモ、又商工省ガ是等ノ自家用自動車ニ助成金マデ與レテ居ルト云フ此ノ考ヘ方カラ云ヒマシテモ、此ノ小運送業法トノ矛盾ガアルト思フノデアリマスガ、此ノ點ヲ明ニシテ置キタイト思フノデアリマス

○鈴木政府委員 商業組合デ組合員ノ爲ニ自動車ヲ使用シテ居ルモノハ、其ノ目的ヲ逸脱セザル範圍ニ於キマシテハ小運送業ノ免許ヲ必要トシナイノデアリマス、ソレハ商工省ニモ其ノ通牒ラシテ居リマス、商業組合ガ其ノ組合ノ目的自身ノ爲ノ貨物ヲ運ブダケハ自家用デアリマスルガ、組合員ノ求メニ應ジマシテ運送契約ヲ致シマス時ハ、勅令ノ十六條ノ九ノ適用ヲ受ケルモノト御考ヘ置キヲ願ヒマス

○伊東委員 モウ一點御尋ヲ御許シ願ヒマシテ、私ノ質問ヲ終了致シマス、只今ノ問題ハ能ク分リマシタ、實ハ商業組合デハ此ノ解釋ニ弱ツテ居ルノデアリマス、次ニ法ノ十六條ノ十一ノ「組合ハ前項ノ事業ノ外組合員ニ對シ其ノ事業ニ必要ナル資金ノ貸付、

組合員ノ爲ニスル其ノ事業上ノ債務ノ保證又ハ組合員ノ貯金ノ受入ヲ併セ行フコトヲ得」ト云フ其ノ事業上ノ債務保證ト云フ解釋ニ付テ、具體的ニ御尋ヲ致シテ置キマス

次ニ第十六條ノ十九ノ議決權ノ問題デアリマスガ「組合員ハ總會ニ於テ各一個ノ議決權ヲ有ス但シ定款ノ定ムル所ニ依リ一人ニ付二個以上ノ議決權ヲ有セシムルコトヲ得」トアルノデアリマス、是ハ餘程能ク考ヘテ御制定ニナツタヤウデアリマス、此ノ組合員タル自動車業者ハ車ヲ一臺持ツテ居ツテモ組合員デアリ、又三臺、五臺、十臺或ハ二十臺持ツテ居ツテモ組合員デアル、或ハ會社ガ一個ノ組合員トナルコトガ出來タ場合ニハ五十臺、百臺ノ車ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ點ヲ御考ヘナツテ、此ノ但書ガ出來タモノト思ヒマス、併シ餘リ多クノ議決權ヲ與ヘルコトハ資本主義ニ偏シマシテ、組合主義ノ精神ニ矛盾致シマスカラ、之ニハ相當ノ制限ヲ加ヘルコトガ必要デアラウト思ヒマスガ、此ノ二個以上ト云フ議決權ノ解釋ニ付テハドウ云フ御見解ヲ持ツテ居ラレマスカ、此ノ點ヲ御伺致シマス

○宮澤政府委員 第十六條ノ十一ノ解釋ノ問題デアリマスガ、是ハ組合ガ其ノ組合員ノ債務ノ保證ヲ致シマスコトハ、多クノ組合ニアルコトデアリマシテ、此ノ十六條ノ十一ダケノ獨特ノ規定デハナイノデアリマス、之ヲ組合ガ保證スルコトニ依ツテ組合員ヲ保護シテ行カウ、組合ガ相當ノ責任ヲ持ツテ事業ノ刷新改善ヲ圖ツテ行カウト云フ意味合カラ、今回斯ウ云フ規定ヲ設ケタモノデアリマス

ソレカラ其ノ次ハ二個以上ノ議決權云々

ト云フコトノ解釋デアリマスガ、是モヤハリ組合ヲ組織シマス場合ニ定款ヲ作リマスカラ、其ノ時合議ニ依ツテ實力ニ應ジテ組合ガ認メマス範圍ニ於テ二個以上ノ議決權ガ認メラレノデアリマシテ、是ハヤハリ自治的ニ組合員ガ之ヲ妥當ト致シマスニハ、一臺持つテ居ル者モ數十臺持つテ居ル會社モ一個ノ議決權ヲ持つテ居ルニ過ギスト云フコトデハ妥當デアリマスカラ、此處ニ斯ウ云フ法文ヲ設ケテ之ヲ緩和シヨウ、要スルニ自治的ニ此ノ議決權ヲ協定サセテ行カウト云フ意味デ、斯ウ云フ法文ヲ設ケタノデアリマス

○伊東委員 第三十五條ノ「本法ニ規定スル主務大臣ノ職權ノ一部ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官又ハ鐵道局長ニ委任スルコトヲ得」此ノ點ガ少シ改正サレテ居ルノデアリマスガ、此ノ内容ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○鈴木政府委員 是ハ鐵道省ノ官制改正ニ伴ヒマシテ、地方鐵道局長モ監督行政ガ出來ルコトニ昨年ナリマシタ、ソレデ地方鐵道及ビ軌道ノ方モ昨年改正サレマシテ、職權ノ一部ヲ鐵道局長ニ委任スルコトニシテアルノデアリマスガ、ソレニ伴ヒマシテ此ノ度ノ改正ニ依リマシテ、自動車ニ對スル所ノ職權ノ一部ヲ鐵道局長ニ委任スルコトニ致シタノデアリマス、其ノ委任ノ範圍ニ付キマシテハ、大體鐵道、軌道ニ關スル自動車ノ運賃ノ輕微ナルモノニ付キマシテハ、實情ヲ知ツテ居リマス所ノ地方鐵道局長ノ裁決ニ俟タウ、斯ウ思ツテ居リマス

○伊東委員 是デ質問ヲ終了致シマスガ、小サイ問題ニ跨ツテ色々親切ニ御答辯ヲ得タコトヲ感謝致シマス、唯私ハ保留致シテ

置キタイ一點ガアルノデアリマス、ソレハ各地方ニ於ケル適正ナラザル自動車免許、及ビ自動車合同ニ對スル適正ナラザル警察等ノ行為、是等ニ付テ尙ホ具體的ニ事實ヲ提示シテ御尋シタイノデアリマスガ、此ノ點ニ付テハ必ズヤ他ノ委員カラモ可ナリ質問サレルコトト思フノデアリマスカラ、此ノ一點デケテ保留致シマシテ、私ノ質問ヲ終了致シマス

尙ホ資料ヲ要求致シテ置キマス、自動車ノ一臺當リノ「ガソリン」配給量デアリマスガ、此ノ分ノ大分縣ト鹿児島縣ト北海道ト秋田縣、此ノ四ツノ縣デケテ一ツ御示シテ願ヒタイト思フノデアリマス、モウ一ツハ、營業形態ノ調査デアリマスルガ、北海道、青森、秋田、東京、富山、愛知、大阪、廣島、山口、愛媛、熊本、大分、宮崎、鹿児島、此ノ府縣デケテ差支アリマセヌカラ、自動車形態別ニ自動車ノ所有臺數ヲ御知ラセテ願ヒタイト思ヒマス、例ヘバ宮崎縣ノドノ會社ハ何臺車ヲ持つテ居ルカト云フヤウナコトデス、是ハ合同關係ニ非常ニ關係ガアルノデアリマスカラ、是ハ必ズ直ニ御調ガ付クト思フノデアリマス、厄介ナ調デハナイノデアリマスカラ、是非御示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○名川委員長 小平君、大臣ハ一寸已ムヲ得ヌ用事ガアツテ外ハ出テ居ラレマスガ、モウ少シスレバ歸ラレサウデスガ……

○小平委員 大分伊東君ガ專門的ニオヤリニナリマシタカラ、二三大臣ニ聽イデ置キタイト思ヒマスガ、併シ一寸鐵道ノ方ノ問題デ御聽シタイコトガアリマスカラ、其ノ方ハ監督局長デ結構デゴザイマス

○名川委員長 ソレデハ小平君

○小平委員 金華山鐵道ト朝倉鐵道ノ買収ニ關スル公債發行ノ問題デスガ、此ノ買収價額等ハ、自然地方鐵道ノ買収法ニ依ツテ買収サレルト思フノデアリマスガ、其ノ内容等ガ分リマセヌ、其ノ内容ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○鈴木政府委員 是ハ地方鐵道法ニ規定サレテ居ル通りデアリマシテ、即チ地方鐵道法ニ依リマス、買収價額カラ殘存物件ヲ控除シタル其ノ以內ニ於テ鐵道大臣之ヲ決定スルコトニナツテ居リマス、ソレデ其ノ以內決定致シマスノヲ、從來ノ慣行ト致シマシテ、益金ノ還元額ト建設費トノ折半デ以テ決メテ居リマス、サウ云フコトデ決マシテ、結局是ハ一應ノ計算デゴザイマスカラ、實際計算スル時ニ違フカモ知レマセヌカラ、ソレハ御含ミヲ願ヒタイト思ヒマスガ、約三十七萬三千圓ガ金華山ノ計算デアリマス、ソレカラ所謂殘存物件ト補修費トガ減ルノデアリマスガ、補修費ハ大體四千五百圓デアリマス、殘存物件ノ價額ハマダハツキリ致シテ居リマセヌカラ、モウ少シ保留サシテ戴キタイ、ソレカラ朝倉鐵道ハ三十六萬六千圓デアリマシテ、殘存物件ト補修費ヲ減ラスノデアリマスガ、補修費ハ五千四百圓デアリマス、殘存物件ハ「レール」ダノ何ダノ賣却ガアリマスカラ、今此處デ一寸申上ゲ兼ネマス

○小平委員 金華山鐵道ノ路線ヲ見マスト、金華山鐵道ノ路線ト石卷線ト云フノハ殆ド同様ナル路線ヲ敷設シテアルヤウニ思ヒマス、既ニ此ノ金華山鐵道ト云フモノハ、此ノ地方ニ於ケル所ノ産業交通ノ爲ニ非常ナ貢獻ヲナシタト云フコトハ、私共此ノ地方ノ人カラ聞イテ居リマスガ、最初ニ此ノ石卷

線ヲ設置スル場合ニ於テ、金華山鐵道ヲ買収スルト云フヤウナ方法ヲ御執リニナツタナラバ、是デケノ多額ノ金ハ出サナクテモ濟ンダノデハナイカ、斯ウ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ドウ云フヤウナ御考デアリマシタノカ承リタイ

○堀越政府委員 石卷線ハ金華山鐵道ヲ利用シテヤツタ宜クナカッタノデヤナイカト云フ御話デアリマスガ、實ハ其ノ點ハ工事ニ著手スル前ニ調査致シタノデアリマスガ、大體線路ガ道路ニ沿ウテ出來テ居ルノデアリマシテ、勾配デアルトカ、主トシテ曲線ナドノ關係上ソレヲ國有鐵道トシテ利用スルコトガ出來ナカッタノデアリマス、ソレデ國有鐵道ハ別ニ拵ヘルコトニ致シタノデアリマス

○小平委員 斯ウ云フ風ナ路線ガ全國各地ニアルト私ハ思ツテ居ルノデスガ、一體此ノ鐵道ガ補償ヲスルト云フマデニ、並行線トカ、或ハ國有鐵道ガ出來タ爲ニ、非常ナ影響ヲ被ツタト云フ點ガ、ドノ程度マデ會社ガ影響ヲ被ツタ場合ニハ買収スルト云フヤウナコトガ、地方鐵道ノ補償法ニ依リマシテ、規定サレテ居ルト思フノデアリマスガ、私ノ方ニモ斯ウ云フ風ナ路線ガアルノデアリマシテ、再三買収シテ貰ヒタイト云フヤウナ陳情ヲ致シテ居ルト云フヤウナコトモ聞イテ居ルノデアリマスガ、サウ云フコトニ當嵌ツテ居ラスト云フコトデ、マダ買収ニナラナイデ居ルノデアリマスガ、一體ドノ程度マデニ會社ガ疲弊トデモ申シマスカ、配當率ガ下ツタ場合ニハ買収スルト云フヤウナコトニナツテ居ルノデスカ、其ノ點ヲ承リタイ

○宮澤政府委員 別ニドレデケノ損害ガア

ツタ場合ト云フ法的ノ規定ハ無いノデアリ
マスガ、現在及ビ將來ニ互ツテ其ノ利益回
復ノ見込ガ到底立チ難イ、結局省線運營ノ
爲ニ、私設鐵道、地方鐵道ノ經營ガ現在及
ビ將來ニ互ツテヤリニクイ、又回復ノ望ガ
立たヌト云フ見込ガ付キマシタ場合ニ、買
收致スコトニナツテ居リマス

○小平委員 補償ヲ出願シテ居ルヤウナ路
線ハ、何レモ將來其ノ鐵道ノミノ經營デハ
到底營業ガ立たヌト云フヤウナコトニナツ
テ居リマスノデ補償ヲ出願シテ居ル、斯ウ
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ程度ガ
ドノ程度ニ行ツタナラバ補償ヲシテ貰ヘル
カト云フコトハ、非常ニ疑問ニナルと思フノ
デアリマス、或ル地方ノ路線ハ買收サレ
タ、或ル地方ノ路線ハ買收サレナイト云フ
コトニナリマス、ソコニドノ程度ニマデ
會社ガ困ツテ來タナラバ買收スルカト云フ、
一ツノ目安ガアルト思フノデアリマスガ、
別ニ的確ナ目安ハナイノデアリマス、其
ノ點ヲ一ツ御伺ヒタイ

○宮澤政府委員 此ノ鐵道ハ一方ハ九割五
分ノ減收ニナリ、一方ハ七割五分ノ減收ニ
ナツタト云フ相當ノ打撃ガアルノデアリマ
ス、其ノ鐵道ノ接近工合、又土地ノ其ノ當
時ノ事情ニ依ツテ併行シテヤツテモ、尙ホ
營業ガ成立ツ場合モアリマセウシ、又可ナ
リ離レテ居リマシテモ、其ノ線ヲ利用スル
コトガ便利デアルト云フ場合ニハ、乗客ナ
リ或ハ貨物ヲ奪ツテ、其ノ營業ヲ非常ナ打
撃ニ陥ラシムルト云フヤウナ場合モアルノ
デアリマスカラ、サウ云フ場合ニハ、鐵道
省ハ之ヲ能ク研究調査ヲ致シマシテ、買收
スルヤウニナツテ居ルノデアリマス、其
ノ點ハドレダケノ減收ニナツタラドウト云

フコトヲ法規上何モ決メテ居ナイヤウデア
リマス、唯其ノ時ノ實情ナリ、行政ノ手加
減デ買收シ、或ハ其ノ儘事業ヲ繼續セシメ
ルヤウニ扱ツテ來テ居ルヤウデアリマス
○小平委員 只今ノ御答辯デハドウモ分ラ
ナイノデアリマス、行政ノ手加減ト云フヤ
ウナ御話デアリマシタガ、サウスルト鐵道
省ニ對シテ、困ツタカラト云フヤウナ運動
デモ盛ニスレバ、買收スルコト云フヤウナコ
トニナルノデアリマス、左様ニ解釋シテ
宜シウゴザイマス

○宮澤政府委員 サウ云フ意味デハナイノ
デアリマス、サウ云フ意味ニ御解釋ニナラ
レマシタラ取消ヲ致シマス、要スルニ其ノ
當時ノ鐵道會社ノ實情デアリマス、ソレヲ
色々調査研究シテ、到底存立ノ見込ガナ
イ、而シテ其ノ原因ガ省線ノ運營ニ在ルト
云フコトニナレバ、責任上之ヲ買收シナケ
レバナラスコトニナルノデアリマシテ、用
語ニ不穩當ナ所ガアレバ取消シマス、サウ
云フ意味デアリマス

○小平委員 大體此ノ金華山、朝倉鐵道ニ
付テノ質問ハ是デ打切りマスガ、唯鐵道大
臣ニ質問致シタイコトガアリマス

○名川委員長 今來ラレルサウデアリマス
○小平委員 ソレデハ私ノ質問ハソレマデ
保留シテ置キマス

○簡牛委員 此ノ際一寸伺ヒマス、朝倉軌
道ガ廢止ニナリマシテ、基山甘木間デ省線
ハ止メラレテ居リマス、從來把木ト云フ所
マデ來テ居リマシタノデ、アノ地方ノ林產
物ヤ農產物モ相當澤山出テ居ルノデアリマ
スガ、其ノ軌道ガ廢止ノ爲ニ、地方ト致シ
マシテハ非常ナ困難ヲ見テ居ルノデアリマ
スガ、斯ウ云フ時局下ニナリマシテ、或ハ

延長ナサルコトモ餘程困難デハナイカト思
ヒマスガ、是ニ付テハドウ云フ御意見デ御
居デニナリマセウカ、甘木以東ハ當分手ヲ
付ケルコトハ出來マセヌカ

○堀越政府委員 只今御話ノ基山甘木間ノ
鐵道ガ完成致シマスノデ、ソレカラ以東ノ
建設線ヲ著手スルカドウカト云フ御話ノヤ
ウニ承ツタノデアリマスガ、其ノ線ニ付キ
マシテハ、先年一應概略ノ調査モ致シタノ
デアリマスガ、尙ホ地形其ノ他ニ付テ十分
研究モ致シマシテ、サウシテ一方資金、資
材ノ關係モ考ヘマシテ、建設線ニ編入ノ可
否ヲ決メタイ、斯様ニ存ジテ居リマス

○簡牛委員 マダサウ云フコトニ付テハ御
方針ハ立ツテ居リマセヌカ

○堀越政府委員 只今ノ所マダ決定シテ居
リマセヌ

○簡牛委員 若シ建設ノコトヲ御考慮ニナ
ルヤウナ場合ニハ、今ノ御話ノヤウニ、地
形ヤ何カガ主トナルノデアリマセウカ、從
來交通ノ要衝トナツテ居リマシテ、其處ニ
ハ農業ヲ離レタサウ云ツタ中心地トシテ人
口モ密集シテ居ルヤウナ所ガアルノデアリ
マスガ、サウ云フ所ニ甚ダシキ變化ノ來ナ
イヤウナ風ニ考慮シテ戴クヤウナコトモ出
來ルノデアリマス

○堀越政府委員 從來ノ交通ノ關係ナリ、
將來ノ交通關係モ十分加味シタ上デ決メタ
イト思ヒマス

○長野委員 チョット關聯シテ御質問ヲ申
上ゲタイト思ヒマス、只今ノ線ハ之ヲ延長
シテ夜明マデ行クコトガ鐵道經營ノ上カラ
一番理想ト考ヘマスガ、鐵道省ニ於テハ、
ドウ云フヤウニ御考ニナツテ居リマス

○堀越政府委員 夜明ニ連絡致スコトニ付
キマシテモ、能ク研究シタ上デ決メタイト
思ヒマス

○小平委員 只今伊東君ノ御質問デ大體細
カシイコトハ御聽ニナツタノデスガ、尙ホ
私ハソレニ關聯スル問題デ伺ツテ見タイト
思ヒマス、ソレハ木炭瓦斯發生爐ノ問題デ
スガ、代用燃料トシテ木炭瓦斯ヲ使用スル
コトヲ鐵道省ガ盛ニ今獎勵ヲ致シテ居リマ
シテ、此ノ獎勵ヲスル爲ニ、取附ケ費用ノ
大體半額三百圓ヲ補助スルコト云フコトニ
ナツテ居リマス、其ノ當時ノ鐵道省ノ考
デハ六百圓位デ出來ルト云フコトデ、三百
圓ト云フコトニ御規定ニナツタト考ヘテ居
ルノデアリマスガ、併シ實情ハ是トハ非常
ニ今日デハ違ツテ參リマシテ、今ノ所木炭
瓦斯ノ發生爐ダケデモ六百五十圓位シマス、
ソレカラ薪炭瓦斯ノ發生爐ハ七百八十圓、
此ノ取付費用ガ三百五十圓ツツ要スルノデ
アリマシテ、木炭瓦斯ノ方デハ千圓内外ヲ
要スルノデアリマス、ソレカラ薪ノ方デハ
千三百三十圓ト云フノガ最低ノ値ニナツテ居
ルノデアリマスガ、斯ウ云フ風ニ費用ガ最
初ノ時トハ非常ニ違ツテ參リマシテ、恐ラ
ク倍ニモナツテ居ルト云フヤウナ現況ニナ
ツテ居リマス、ノミナラズ此ノ木炭瓦斯ノ
發生爐ト云フモノガ、最初私共ノ考デハ、
二箇年若クハ三箇年位ハ保ツダラウト云フ
考ヲ持ツテ居ツタノデアリマシテ、御同様
鐵道省ニ於テモ左様ナ見解ヲ御持チニナツ
テ居ツタ、斯ウ私共ハ考ヘテ居リマス、然
ルニ實際ニ使ツテ見マスルト、是ハモウ六
箇月モ使フト、非常ナ故障ヲ生ジテ參リマ
シテ、最大限使ツテモ今ノ所デハ八箇月若
クハ十箇月シカ使ヘナイト云フヤウナ現狀
ニナツテ居ルト云フコトハ、御調査ノ上デ

御知リダラウト思ヒマス、サウ云フ風ナ狀態ニナツテ居リマスカラ、之ヲ國策トシテ積極的ニ御獎勵ニナルト云フ以上ニハ、相當ナ補助金ヲ將來増加スルコト云フコトガ必要デアラウト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマスカ、鐵道當局ハドウ考ヘテ居ラレカ、此ノ點ヲ伺ヒタイ

○鈴木政府委員 薪炭瓦斯發生爐ノ取付費及ビ價格デゴザイマスカラ、是ハ今仰シヤラレタ價格ハ私ノ考ヘテ居リマスカラ價格ト少シ違ヒマスガ、兎モ角モ相當ニ掛カルヤウデゴザイマス、此ノ費用ハ私共ノ方ノ負擔デナクシテ商工省ノ負擔デアリマス、併シ吾々ノ方モ尙ホ只今ノ御話モアリマスカ、其ノ調査モモット具體的ニ致シマシテ、商工當局ヘモ其ノ事情ヲ能ク話シテ見ヨウト斯ウ考ヘテ居リマス

○小平委員 此ノ問題ハ勿論商工省ノ所管デアリマスカラ、尙ホ商工省ノ所管デ「ガソリン」ノ問題モアリマスカラ、次回ノ委員會ニハ商工省ノ燃料局ノ方々ニツ御出席ヲ願フコトヲ此ノ際御願シテ置キマスカ

ソレデハ此ノ問題ハ商工省ノ方ガオ出デニナツタ時ニ譲リマシテ、次ニ是ハ先程伊東君カラモ御話ガアリマシタガ、自動車運輸事業方面ノ運賃ノ問題デス、是ガ未ダニ四五年前ノ運賃ヲ實行シテ居リマスカ、到底業者ハ立行カスト云フヤウナ現狀ニナツテ居リマス、是ハ自動車及ビ諸式其ノ他ニ付キマシテハ、鐵道省ニ於キマシテモ相當御調査ニナツテ居リマスカラ、御分リト思フノデアリマスカ、二三年前カラ見マスカ、自動車ハ約二倍半ニナツテ居リマスカ、二千五百圓カラ三千圓ノ「バス」ガ今デ

ハ七八千圓ト云フ現狀ニナツテ居リマス、「ガソリン」ハ三年前ハ「ガロン」二十八錢デ私ハ安カッタト考ヘテ居ッタノデアリマスガ、ソレガ現在ハ六十四錢ト云フ現狀ニナツテ居リマス、尙且ツ今回ノ増稅ニ依リマシテ八錢ノ増稅ガサレテ居リマス、尙ホ其ノ上ニ產地ニ於ケル原價高ノ爲トソレカラ船賃ガ高クナルト云フノデ、相當ニ値上リガ豫想サレテ居ル、少クモ八十錢以上ニナルダラウカト、斯ウ私共モ考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ他「タイヤ」ノ値上、或ハ部分品ノ値上、部分品ノ如キハ三年前カラ見マスカラ約二倍半カラニナツテ居リマスカ、其ノ他燃料ノ問題ハ伊東君カラ色々御説ガアリマシタケレドモ、此ノ數量ノ問題デアリマス、「ガソリン」ノ數量ハ今ノ所デハ、實際ニ配給サレテ居ル量ト云フモノハ、平時ニ於ケル量ト比較致シマスカラ約七割減デアリマス、三割シカ配給サレテ居リマスカ、是ガ地方ニ於ケル現狀デアリマスカ、其ノ他ハ代用品ヲ使用シテ居リマスカラ、業者ノ苦痛ハ御話ノ外デアリマス、之ヲ打開スルニハ何ヲ以テ打開スルカト云フコトヲ研究シテ見ルト、料金ヲ上ゲルト云フコトノ外ニ途ガナイノデアリマス、此ノ自動車營業ニ對スル補助金、自動車營業ニ對スル資材ノ値上リト云フコトヲ考ヘマシタナラバ、相當運賃ヲ訂正スルコト云フコトハ當然適當ナリト考ヘテ居ルノデアリマスカ、鐵道省ハ之ニ對シテドウ云フ考ヲ持ツテ居ラレマスカ

○鈴木政府委員 「ガソリン」消費規正ガ始メラレマシタ當時カラ去年ノ夏頃マデハ、或ル點ニ於キマシテハ、所謂經營ノ合理的方面ニ依ツテ經費ガ割合ニ節約サレテ居ル、ソレデ運轉「キロ」ガ減ツテ居ル、其ノ割合ニ運賃ノ收入ガ減ラナイ、却テ或ル點ニ於テハ世ノ中ノ好景氣デ運賃收入ガ殖エタト云フヤウナ現象ヲ呈シテ、割合ニ自動車運輸業者ニ於キマシテハ、消費規正ノ爲ニソレ程ヒドイ經濟的打撃ヲ受ケナイデ濟シデ居ツタヤウニ見タノデアリマス、段々規定ガ強マルニ隨ヒマシテ吾々モ非常ニ御苦シイト思ヒ、殊ニ仰シヤラレル通り諸物價ガ非常ニ上ツテ苦シイト考ヘルノデアリマス、併シナガラ何ト云ツテモ自動車事業ハ公益企業デアリマスカ、「ストップ」令ノ布カレテ居ル今日ニ於キマシテ、殊ニ民衆ニ關係スル所大デモアリマスカ、斯ウ云フ時ニ一般的ニ運賃ノ値上ヲ許可スルコト云フヤウナコトハシナイト云フ原則ノ下ニ、今直チニ値上ヲサセルト云フ譯ニハ行キ兼ねルト思ヒマス、併シナガラ今後ニ於ケル物價高モ見ナケレバナラヌシ、「ガソリン」消費規正ノ強化、代用燃料ノ使用ノ擴張ト云フヤウナモノト睨ミ合セテ、吾々ハ十分尙ホ調査ヲ續ケテ行キタイト思フノデアリマス、唯具體的事實ト云フコトニナリマスカ、或ハ是ハ其ノ會社ニ於ケル經營、其ノ地方ニ於ケル交通機關ノ費用ト云フヤウナモノト能ク睨ミ合シテ運賃ヲ決定シテ行キタイト斯ウ考ヘテ居リマス、唯正シイコトカドウカ知レマセサガ、運輸事業ハ運賃ヲ上ゲレバソレダケノ運賃收入ガ其ノ儘利益ニナルモノデモナク、他ノ機關ニ之ヲ轉嫁スル惧モアリマスカ、一概ニ運賃ヲ上ゲルコトガ其ノ會社ノ利益ダトモ考ヘラレナイノデアリマス、具體的事實ハ其ノ時ニ一應當ツテ見マスカ、一般ニ今直グ此處デ運賃ノ値上ヲ許スト云フ方針ヲ申上ゲル譯ニハ行カナイト

思ヒマス、是ダケヲ申上ゲテ置キマス

○小平委員 只今ノ政府ノ御説明ニ依ツテモ、値上ヲ致シマシテモ、値上ノ結果ト云フモノガ其ノ經營者ニ對スル利益デアルカナイカト云フコトハ、時ニハサウ云フ結果ヲ生ジ尙ホ鐵道軌道トノ並行線ニハ左様ナコトガ出來ヌコトハ常例デアリマスカレドモ、單一路線ニ於テ全ク營業ガ不振ニ陥リマシテ、營業ノ繼續ガ非常ニ困難ダ、物資ガ非常ニ高クナツタ爲ニ收支引合ハナイデ車ヲ買フコトモ出來ナイ、或ハ「ガソリン」ヲ買フコトモ出來ナイト云フヤウナ經營者ガ地方ニボツ／＼見エル狀況ニナツテ居リマス、大營業者ハ御承知ノヤウニ地方ノ「インフレ」トデモ申シマスカ、金ガ餘計流込デ居ルト云フ狀況カラ、多少客ガ殖ヘタコトニナツテ居リマスカ、小營業者ハ物資高ノ爲ニ非常ニ困ツテ居ルト云フコトハ事實デアリマスカラ、サウ云フ點ニ付テハ十分御調査ヲ願ヒマシテ善處サレンコトヲ希望致シテ置キマス

次ニ御伺シテ見タイコトハ國產自動車ノ問題デアリマスカ、是ハ昨年國產自動車ヲ如何ニ指導シテ行クカト云フコトヲ、自動車關係ノ委員會デハアリマセシタ、軍用自動車ノ委員會ヤウニ記憶シテ居リマスカ、其ノ時今ノ保護會社デアル「トヨタ」、「日産」會社ヲドウ云フ風ニ將來指導スル積リデアルカ、又外國ノ「フォード」、「シボレー」ノ會社ニ對シテ將來ドウ云フ關係ヲ持ツテ居ルカト云フ質問ヲ致シタノデアリマスカ、其ノ當時御答辯ニ依リマスカ、日本ノ今ノ國產車ノ技術ハ頗ル幼稚デアル、隨テ「フォード」、「シボレー」ノヤウナ外國ノ優秀ナ會社ヲ日本ノ會社ニ吸收スルコトハ

思ヒマス、是ダケヲ申上ゲテ置キマス

○小平委員 只今ノ政府ノ御説明ニ依ツテモ、値上ヲ致シマシテモ、値上ノ結果ト云フモノガ其ノ經營者ニ對スル利益デアルカナイカト云フコトハ、時ニハサウ云フ結果ヲ生ジ尙ホ鐵道軌道トノ並行線ニハ左様ナコトガ出來ヌコトハ常例デアリマスカレドモ、單一路線ニ於テ全ク營業ガ不振ニ陥リマシテ、營業ノ繼續ガ非常ニ困難ダ、物資ガ非常ニ高クナツタ爲ニ收支引合ハナイデ車ヲ買フコトモ出來ナイ、或ハ「ガソリン」ヲ買フコトモ出來ナイト云フヤウナ經營者ガ地方ニボツ／＼見エル狀況ニナツテ居リマス、大營業者ハ御承知ノヤウニ地方ノ「インフレ」トデモ申シマスカ、金ガ餘計流込デ居ルト云フ狀況カラ、多少客ガ殖ヘタコトニナツテ居リマスカ、小營業者ハ物資高ノ爲ニ非常ニ困ツテ居ルト云フコトハ事實デアリマスカラ、サウ云フ點ニ付テハ十分御調査ヲ願ヒマシテ善處サレンコトヲ希望致シテ置キマス

次ニ御伺シテ見タイコトハ國產自動車ノ問題デアリマスカ、是ハ昨年國產自動車ヲ如何ニ指導シテ行クカト云フコトヲ、自動車關係ノ委員會デハアリマセシタ、軍用自動車ノ委員會ヤウニ記憶シテ居リマスカ、其ノ時今ノ保護會社デアル「トヨタ」、「日産」會社ヲドウ云フ風ニ將來指導スル積リデアルカ、又外國ノ「フォード」、「シボレー」ノ會社ニ對シテ將來ドウ云フ關係ヲ持ツテ居ルカト云フ質問ヲ致シタノデアリマスカ、其ノ當時御答辯ニ依リマスカ、日本ノ今ノ國產車ノ技術ハ頗ル幼稚デアル、隨テ「フォード」、「シボレー」ノヤウナ外國ノ優秀ナ會社ヲ日本ノ會社ニ吸收スルコトハ

非常ニ日本ノ國產自動車ノ發達上有利ト考ヘルカラ其ノ方向ニ進ムノダト云フヤウナ御答辯ガアツタノデアリマス、現在ドウ云フ狀況ニナツテ居リマスカ、是モ鐵道省ノ所管デハナイカモ知レマセヌガ、若シ鐵道ノ方デ御承知ニナツテ居リマシタラ御答辯ヲ願ヒマス

○鈴木政府委員 是ハ商工省關係ノコトガ多イノデアリマスカラ商工省關係ノ政府委員ガ來ラレマシタ時ニ答辯サレルヤウニ致シタイト思ヒマス

○小平委員 私ハドウモ商工省關係ノ質問ナノデ、商工省關係ノ方ノ御出席ヲ願ツテカラニ致シマス、尙ホ大臣ニ對スル質問モ留保致シマス

○名川委員長 ソレデハ明後日ニ御願致シマス

○伊東委員 免許關係合同關係ニ關聯致シマシテモウ少シ尋ネテ置キタイト思ヒマス、先程政務次官ハモウ少シ省營自動車ヲヤラレタラドウカト云フ私ノ質問ニ對シテ、成ベク民業ハ民業トシテヤラセタイト云フ御話デアツタ、私ノ考デハ現在ノヤウナ合同方針デアラナラバ省營「バス」ノ方ガ宜イト云フ考ヲ持ツテ居ルガ、省營「バス」ノ經營方針ハ將來ドウサレルノデアリマスカ、只今ノ合同事情ヲ眺メテ居リマス、資本家ガドン／＼自動車界ニ乗出シテ、昨年アタリモ既ニ權利金ノ如キモ二倍、三倍、或ハ五倍ト云フヤウニ、現在ノ評價ヨリモ高ク出シテ居リマス、斯ウ云フコトヲ放任シテ置キマス——鐵道省ノ省營自動車ヲ今後モヤラウト云フ豫定線ガ私共ハアルト考ヘテ居リマスガ、鐵道省ガ賠償スル價格ガ非常ニ増加スルト云フコトニナツテ、鐵道省ガ

折角省營「バス」デ行カウト云フ路線モイケンヤウニナリハシナイカト思ヒマスガ、之等ニ關スル御考慮ガアルノデアリマスカ

○宮澤政府委員 重ネテ御質問デアリマスガ、現在省營「バス」ノ營業ヲヤツテ居ル所ハ無論繼續シテヤル考デアリマス、又鐵道トシテモ必要アリト信ジマシタ地點ハ擴張スル考デ居ルノデアリマスガ、御承知ノ色色省營「バス」ヲ運營シマス上ニ於テ是ヲ建設シマス資材ナリ、運營ニ要シマス消耗原料デアリマス「ガソリン」ナドト云フヤウナモノモ、斯ウ云フ時代デアリマスカラ、不足騰デアツテ、十分目的ヲ達スル譯ニ參ラス事情ニアルノデアリマス、御話ノ遅レルト他ノ資本家ガ路線ヲ運營スルコトニ依ツテ將來省營ノ運行ニ、賠償等ニ支障ガアツテ差支ヤシナイカト云フ重ネテノ御質問デアリマスガ、是ハ仰セノ通りデアリマスガ大體賠償致スノハ其ノ當時ノ利益收入ト云フコトヲ標準トシテ賠償致スノデアリマスカラ不當ニ賠償スル譯デモアリマセヌシ又將來鐵道ガ已ムヲ得ズ運營シナケレバナラヌヤウナ必要ガ生ジマシタ時ニハ或ル程度ノ賠償ヲシテ鐵道ノ運營ニシタイト斯ウ云フヤウニ思ツテ居リマス

○伊東委員 只今省營デ運行シテ居リマスル路線ノ數及ビ將來省營トシテ適當ト御認メニナツテ居ル路線數及ビ一般民間カラ或ハ地方町村關係、路線ノ關係筋カラ陳情致シテ居リマスル希望線ト云フモノガ相當ノ數ニ上ツテ居ルト考ヘテ居リマス、毎年請願委員會ニ請願シテ來テ居ル數モ相當ノ數デアリマス、ソレ以外ニ私ハ相當澤山ナ路線ガアルト思ツテ居リマスガ、現在マデ全國カラドレ位希望路線ノ數ガアルノデアリ

マスカ、其ノ點ヲ御伺致シマス

○宮澤政府委員 自動車課長ガ説明員トシテ御答申上ゲマス

○馬場説明員 只今營業致シテ居リマス路線ハ四十一線ニナツテ居リマシテ、大體二千五百「キロ」餘ニ上ツテ居リマス、其ノ他以前カラ計畫サレマシテ殘ツテ居リマスモノガ千「キロ」餘アルノデアリマス、鐵道省デ初メ自動車ヲヤリマス當時自動車交通網ト云フモノニ付テ委員會ヲ置キマシテ御決定ニナツタ豫定路線ト云フモノハ、一應試案トシテ持ツテ居リマス、其ノ後議會其ノ他デ請願ガアリマシタ路線ノ中、可ナリノ部分ガ現在マデニ開業サレハ計畫サレテ居ルモノモゴザイマスガ、尙ホ殘ツテ居ルモノモ相當ゴザイマス、毎年新ナ線ガ議會請願ノ或ハ建議ノ形デ出テ參リマス、其ノ以外ニ直接鐵道省ノ方ニ申込デ來ラレル向キモ多クゴザイマス、若シソレ等ノ數字ガ御必要ナラバ後程取調ベテ差上ゲテモ宜イカト存ジマス、ソレ等ノ中カラ出來ルダケ御希望ニ副ヒタイト考ヘテ居ルノデゴザイマスガ、種々ノ點、利用ノ如何或ハ交通系路トシテノ適否等ヲ考ヘマシテ、又御承知ノ通り省營自動車ヲ運營致シマス時ニハ、內務省ノ規格ニ合ツタ自動車道トシテ開業致スコトニ致シテ居リマス、地方廳ト道路ノ改修其ノ他ニ付テ相當交渉モアリ、又道路ノ改修ヲ致サネバナラヌヤウナコトモゴザイマス、此ノ時局ノ際以前ノヤウニ活潑ニ路線ヲ開業スルト云フコトハ中困難ナ事情ニゴザイマス、今マデ計畫サレテ約束サレテ居リマス線ニ付テハ出來ルダケ努力致シマシテ、順次開業致シテ行キタイ希望ヲ持ツテ居ル次第デアリマス

○伊東委員 只今省營自動車トシテ營業中ノ路線ハハツキリ致シタノデアリマスガ、現ニ計畫中ノ路線、是ハ御發表ガ出來ヌカト思ヒマスガ、哩數デモ宜シイ、建議若クハ請願ニナツタ哩數及ビソレ以外ニ鐵道省ニ直接陳情シタ路線ニ付テ參考書トシテ後刻御配付ヲ願ヒマス、更ニ地方デハ自動車ガ私營、省營ノ何レヲ問ハズ成タケ多數アルコトヲ帝望致シテ居ルノデアリマス、併シ從前ノ如ク營業ガ小サイ經營アルト、資材、「ガソリン」其ノ他營業上ノ關係カラ營業ガ困難ニナリ、ソレ等ノ點カラ合同ヲ獎勵シ統制スルト云フコトニナツテ居リマス、實際資本主義的ニ之ヲ經營シテ、大合同ヲヤレバ、是ハ「バス」經營ニ於テモ「トラック」ノ經營ニ於テモ比較的少イ資金ガ多クノ利益ヲ現在デモ上ゲラレルノデアリマス、ソレハ是ダケ「ガソリン」ノ規正ヲ受ケ物資ガ高クナツテモ、「トラック」業ノ如キハ相當ノ利益ガアリマス、「バス」モ相當儲カツテ居リマス、唯「ハイヤー」「タクシー」ノ類ガ、是ハ先程小平君カラ御話ガアリマシタ通り、全ク事業ガ行詰ツテ困ツテ居ルノハ、「ガソリン」ノ關係ガ其ノ主ナル點デアリマス、ソコデ只今資本家ガ警察ト協力シテ無理矢理ニ買収合同セシムルト云フヤウナコトヲ致シテ居リマス、資本家ハ渡リニ船デ僅カナ資本デ是位面白イ事業ハナイト云フノデ、ドン／＼投資スルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、其ノ獨占的ナ營業ニナリマスルト營業者自體ハ多々益々利益ガ大キクナリマス、或ハ今マデ一路線、數營業者ガアツタモノヲ合同シテ一營業者ニ致シマス、營業ノ利潤ト云フモノハ非常ニ殖エテ參リマスガ、其ノ代リ利用スル一般

大衆ハ非常ニ不都合ナコトガ多イノデアリマス、是ハ唯料金ノ問題バカリデナク、ソレ以外ニ獨占サレト不利益ナ點ガアルコトハ御承知ノ通りデアリマス、同ジク資本金ノ獨占事業ニスル位ナラバ、私はハ省營ニスル方ガ宜イト考ヘテ居リマス、一體私ハ總テ官營ハ餘リ好キナ方デヤアリマセス、反對デアル、ヤハリ私ハ民業ヲ自然ノ儘ニ助長スルト云フコトヲ平生カラ唱ヘテ居ルノデアリマスケレドモ、只今ノ自動車交通ノ如ク獨占營業ガ非常ナ弊害ヲ現ニ現シツツアリマスコトニ付テハ、是ハドウシテモ此ノ點ヲ匡正シテ行ク方法ハ、ヤハリ省營ニ移シテサウシテ之ヲ抑ヘルコトガ宜シイ、又現在在地方デハ一時ハ省營「バス」等ニ對シテハ非常ナル不平不滿ガアリマシタ、ソレハ民業時代ヨリモ若干所謂官僚式ナ點ガアリマスガ、慣レルト云フト寧ロ省營「バス」ノ方ヲ好ムヤウニナル、一二年經テバサウ云フ風ニナルノデアリマス、私共一時ハ省營「バス」ノ如キハ宜クナイト考ヘテ居リマシタケレドモ、段々日時ガ經テマスト是ガ宜シイ、或ハ市營「バス」或ハ町村營「バス」ノ如キモ惡イト最初考ヘテ居ツタガ、獨占ノ資本金ノ經營ヨリモ是ガ宜イト云フコトニナルノデアリマスカラ、今ハ時局中色々ナ資材其ノ他ノ關係デ出來ナイ事情モアリマセウケレドモ、資本金ガ合同スル以上ハ資材其ノ他ノ關係モ同ジコトデアリマスカラ、此ノ點善處シテ戴キタイト思フノデアリマス

更ニ御尋致シマスガ、是ハ局長ノ方ガ能ク分ツテ居ラレルコトカトモ存ジマスガ、一體省營「バス」ヲ買收スル時ニハ賠償金ト云フモノガソレゾレ基準ガアツテ、此ノ基準ニ依ツテ算定サレテ評價サレルノデアリマス、又資本金ガ合同若クハ買收スル場合ニモ、無論ソレノ算定ノ基準ハアルノデアリマスガ、其ノ中デ買收スル自動車、車庫或ハ土地等ハ物デアルカラ、其ノ評價ハ分ルノデアリマスガ、分ラナイハ權利料デアリマス、免許ヲ受ケタ路線「トラック」或ハ「ハイヤー」等ノ權利料ガ買收價格ノ大部分ヲ成スノデアリマス、法ニ依ルトハ賣渡スコトハ出來ヌガ、讓渡スルコトハ認メラレテ居リマス、其ノ讓渡ニ際シテ必ズ此ノ權利料ガ殆ド公認ノ如ク賣買セラレテ居リマス、省營「バス」ノソレ等ノ問題ハハツキリ分ツテ居リマセウガ、最近ノ資本金ガ二倍モ三倍モ四倍モデ買收スルト云フ、其ノ買收ノ價格ハ何カト云フト殆ド權利料デアリマス、此ノ權利料ハ路線ニ依ツテ利益ノ多少モアリマスシ、或ハ「トラック」ヲ買收スル場合ニハ、其ノ附近ノ環境ニ依ルトカ、色々ナ條件ガ必要ダト致シマシテモ、此ノ權利料ト云フヤウナモノニ對スル御見解ハドウ云フ工合ニナツテ居ルノデアリマセウカ、路線ノ如キハ一律ニ參リマセウガ、「トラック」ノ如キハ一臺ニ千圓ノ所モアリ、三千圓ノ所モ、四千圓ノ所モアルト云フ工合デアリマス、「ハイヤー」タクシ「ニ於テモ東京デハ幾ラ、大阪デハ幾ラ、地方デハ幾ラト大體標準モ立ツテ居リマスガ、千圓、二千圓、三千圓モアルト云フ工合デアルガ、是ハ發表出來ヌ點ガアルカモ知レマセヌガ、大體御知リニナツテ居ル範圍デ發表出來ルモノト考ヘマスノデ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○鈴木政府委員 「バス」或ハ「トラック」ノ讓渡ニ於キマシテ、營業權ガ附帶シテ賣買價格ヲ成シテ居ルコトハ御説ノ通りデアリマス、ソレハ實際世ノ中ニ於テサウ云フヤウニ行ハレテ居ルノデアリマスカラ、仕方ガナイト思ヒマスガ、其ノ「バス」ノ方ハ省ノ賠償所謂補償規定ガ大體民間ニ行ハレテ居リマスノヲ取ツタモノデアリマシテ、ソレハ都市及ビ田舎、同ジ都市デモ其ノ路線ニ依ツテ違ヒマセウガ、大體ニ於テ世間ニ行ハレテ居ルモノヲ基準トシテ取ツタモノデアリマス、「トラック」ノ方ハ今ハ一輛幾ラト云フヤウナコトデ讓渡セラレテ居ルヤウデアリマスガ、二千圓内外シテ居ルト觀察シテ間違ナイノデハナイカト思ツテ居リマス

○伊東委員 「バス」ノ合同或ハ買收ニ付テハ、先程カラ申上ゲルヤウニ非常ニ最近高ク買收スルヤウニナツタト思ヒマス、合同スル場合或ハ賣ル時分ニハ高イ方ニ賣ツタガ宜イト云フノデ、サウ云フヤウニナル、其ノ結果ニ於テハ今度ハ資本金ガ經營スルヤウニナルカラ、隨テ利用者ノ非常ニ不利益ニナルト云フノデ、此ノ點ハ自動車ノ公益性カラ相當考ヘナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、現ニ地方デハ段々省營「バス」ノ運行ヲ希望スル地方ガ殖エテ參ツテ居リマスノデ、此ノ點ニ付テハ鐵道省トシテモ相當具體的ナ考案ヲ立テテ御行キニナラヌト、結局ハ資本金ノ手ニ移ルト馬鹿ナ値段デ買收シナケレバナラヌコトニナルノハ火ヲ賭ルヨリ明カデアリマス、隨テ省營「バス」ヲ運行スル豫定場所ノ如キハ、當然鐵道省ガ買フノダカラト云フヤウナ一ツノ見透シヲ付ケテ無理ナコトヲシテ買收スル、其ノ上ヲ儲ケルノダト云フヤウナコトヲ一ツノ目安ニシテ買收シツツアルコトモ、各府縣デ段々承ツテ居ルノデアリマスガ、是等ニ對シテハ之ヲ抑ヘヨウトシテモドウスルコトモ出來ヌニ致シマシデモ、將來ノ省營自動車ニ非常ナ影響ノアルコトデアリマスシ、其ノ結果ニ於テハ利用者ノ非常ニ不利益ナコトニナリマスカラ、是等ニ付テハドウ云フヤウナ御意見デアリマスカ、其ノ點ヲ承リタイト思ヒマス

○鈴木政府委員 「バス」ノ讓渡ニ於キマシテハ許可ガナケレバナラヌシ、合併ニ於テモ合併前ニ許可ヲ受ケナケレバナリマセス、サウ云フ際ニ省營自動車ノ候補地デア

リマスカ

○鈴木政府委員 既免許業者ガアリマシテ、ソレガ合同スル場合ニ於キマシテハ、其ノ既免許業者ノ合同セラレモノガ各、其ノ勢力範圍上當ヲ得テ居ルカドウカト云フコトヲ審査シテ決メルノデアリマシテ、鐵道ト自動車トノ間ニハ各、其ノ機能モ違ツテ居リマスノデ、其ノ交通分野ハ異ナルト思ヒマスカラ、國有鐵道トノ間ニサウ大キナ問題ハナイト思ツテ居リマス、殊ニ近來ハ免許ノ際ニ於キマシテ競争線ナリヤ否ヤヲ十分調ベテ行ツテ居リマスカラ、鐵道ノ方ノ問題ハサウ顧慮スルコトナク、自動車事業者相互間ニ於ケル分野ガ將來ニ於ケル統制上宜シイカドウカト云フコトヲ主眼トシテ決メテ居ルノデアリマス

○伊東委員 ソレデハ、委員長或ハ其ノ他ノ都合モアルヤウデアリマスカラ今日ハ是デ止メマスガ、マダ免許ノ問題及ビ買收問題、ソレカラ省營自動車ノ問題等ハ、モウ少シ御聽キシタイコトガアリマスカラ、其ノ點ニ關スル質問ハ保留サシテ戴キタイト思ヒマス

○名川委員長 ソレデハ今日ハ是デ散會致シマス、明後日午前十時カラ開會スルコトニ致シマス

午後四時四十一分散會

昭和十五年三月八日印刷

昭和十五年三月八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局